

—地域社会に輪を拡げる—

来友会 30年の歩み

軽費老人ホーム

来友館



平成15年12月(2003)

も く じ

理事・評議員・職員名	2
開館30周年に思う 理事長 西 座 正 蔵	3
開館30周年を迎えて 施設長 西 座 新 二	4
来友会創立30周年にあたって 大阪府高齢介護室長 榊 谷 真 一	5
お祝いの言葉 大阪府社会福祉協議会常務理事 葭 矢 忠	6
お祝いの言葉 大阪府社会福祉協議会老人施設部会長 三 上 了 道	7
来友会30年の歩みに寄せて 全国軽費老人ホーム協議会会長 山 中 拓 治	8
創立30年を迎えて 元大阪府議会議員 植 野 一	9
開館30周年に思う 理事 鶴 美 枝子	10
発刊を祝して 理事 杉 岡 重 治	10
韓国・ソウルの老人ホーム 理事 田 中 隆 英	11
創立30周年のお祝い 評議員 倉 重 龍 馬	11
開館30周年に思う 職員 柿元キミ子、根来ユリ子	12
職員 竹田 和子、宇賀 昌代	13
職員 西浦由佳子、阪口 和子、服部 敦子	14
職員 青木 一恵、木本 和紀、坂本 晴美、東 久子	15
職員 山本 政子、北筋 靖代	16
職員 岩本有津子、奥上 信江	17
職員 井上寿佳恵、池宮九美子	18
元職員 政埜 洋子、福田多恵子	19
元職員 地崎 洋子、池浦 憲子	20
元職員 葛城 時子	21
入居者座談会 司会 事務長 吉田 基幸	22
出席者 近藤妙子、倉田さちき、伊吹きみ、熊本文子、紀伊国谷勇雄	
民謡クラブ	25
書道クラブ	26
園芸クラブ	27
踊りクラブ	28
カラオケクラブ	29
さんぽクラブ	30
開館20～30年の歩み	31～68
開館満30年記念式典	69
来友館ご案内	70
来友館の庭	71
来友館の概要	72
来友館の歌「来たれや友よ」 作詞 奈良吉太郎、作曲 中川国生	73
編集後記	74

—地域社会に輪を拡げる—

来友会創立30年の歩み



軽費老人ホーム 来友館 職員



在宅介護事業所 らいゆう 職員



社会福祉法人 来友会 (平15・4・1現在)
理 事

理事長	西座正蔵	理事	南川昌良
施設長	西座新二	〃	船倉之生
専務理事	西座フデ	〃	杉岡重治
理事	植野一	〃	田中隆英
〃	鷗美枝子	監事	岸上正暢
〃	森修	〃	南口昭司

評議員

武井澄子	道古美智子	倉重龍馬
金野巖	三好美智子	峰松郎
脇坂昌一	冠義雄	柏原剛
向井輝雄	髭野武史	(理事は全員評議員を兼ねる)

職 員

【軽費老人ホーム来友館】

施設長	西座新二	ケアスタッフ	
リーダー	柿元キミ子	チーフ	根来ユリ子
ホールスタッフ			服部敦子
チーフ	竹田和子		木本和紀
栄養士	西浦由佳子	宿直専任	東久子
	青木一恵	看護スタッフ	
	坂本晴美	チーフ	宇賀昌代
	柏原静枝		山尾和代
	北庄司礼子	施設長代理	吉田基幸
		事務員	阪口和子

【在宅事業所らいゆう】

所長	西座新二
サービス提供責任者	山本政子
ケアマネジャー	岩本有津子

理事長あいさつ

開館30周年に思う



理事長 西 座 正 蔵

月日の経つのは早いもので、ここに開館30周年を迎えることが出来ました。社会福祉法人「来友会」を設立し、老人ホーム来友館を建設するに当っては、私の古くからの友人であり軽費老人ホームを経営されている、岸上正暢理事長の説得があったからです。

それは「西座君、こんな広い敷地と大きな家に住んでいるが将来どうなるのか」、娘は嫁いで行くし、息子は独立して何処に住むかわからない。あとに残った老夫婦のことを考えてみたらと言われた。そこで敷地内に老人ホームを建設したいという希望を、家族に相談し賛同を得てから計画を進めたのです。岸上さんの指導で軽費老人ホームA型の建設資料を揃えて厚生省へ相談に行ったところ、B型化か特別養護老人ホームにしたらと言われ、「A型でなければ」と少し失望して帰りました。

その後、約2年間は何の連絡もありませんでしたが、突然、昭和47年7月に「A型を許可するから翌年の3月末までに完成するように」と通知が来ました。早速、自宅の炊事場、車庫、貸家2軒を整地して、9月3日に地鎮祭を挙げて建設に取りかかりました。ところが鉄筋4階まで工事が進んだときオイルショックが起り、セメントが不足高騰して工事が出来なくなりました。そこで府庁に2か月の延期を申請し、やっと5月28日に開館できたのです。

何からなにまで手探りの経営が続き、とくに妻は専務理事として事務から入居希望者への対応、職員の指導にとまさに三面六臂の活躍でホームを運営してくれました。昼食は入居者の食事が済んだあと事務所の机で行い、午後1時からは仕事となって昼休みはほとんど出来ませんでした。これからも職員の皆さんに頑張って頂き、さらに楽しい憩いの場として提供できるよう、内容の充実を図り努力して行きます。

開館30年を迎えて



施設長 西 座 新 二

軽費老人ホーム「来友館」が開館30周年を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。昭和48年3月23日に社会福祉法人「来友会」が厚生省から法人認可を受け、同年の5月28日に第1種社会福祉施設として、軽費老人ホーム「来友館」をオープンしてから満30年を迎えました。私は理事長の後継者ということで、法人設立の発起人からの理事を委嘱されていました。

しかし、東洋ベアリング製造(株)の社員であったことから、殆んど施設の運営については何も知らないのと同然でした。ところが父が心筋梗塞という命に係わる大病を患い、私が20年間在職した会社を依願退職し、父が理事長、施設長を兼務する後を継いで、施設長に就任したのが平成2年4月1日でした。それから13年が経過するなか多くの職員が入れ替わり、今や嘱託の吉田事務長を除けば主任寮母の柿元職員だけとなってしまい、私より在館年数の長い入居者はたった6人となってしまいました。

開館20周年を迎えたときは、まだ、勤務2年生で右も左もわからず、ベテラン職員に支えられながら何とか職務をこなしていたのが、つい先ほどのように思えます。この間に軽費老人ホームを取り巻く環境は大きく様変わりし、来友館のような軽費A型は造られなくなり、職員定数の少ないケアハウスに移行しています。平成12年4月から介護保険が施行され、来友館も訪問介護事業に進出しました。

これからの10年を予測することは、過去の10年が激動ただけに困難ですが、軽費老人ホームも介護能力を身につけたユニットケアハウスか痴呆対応型グループホーム、新型ユニットタイプの特別養護老人ホーム施設に変わっているかも知れません。

お祝いのことば

来友会創立30周年にあたって



大阪府高齢介護室長 榊 谷 真 一

軽費老人ホーム「来友館」が創立30年を迎えられましたこと、心からお喜びいたします。

当施設は昭和48年5月に大阪南部地域において、高齢者の快適な生活空間づくりをめざして創立され、入居者の方々はもとより地域社会にも親しまれてこられました。これも西座正蔵理事長、西座新二施設長はじめ、役職員のご努力と地元泉佐野市や関係者のご理解・ご協力の賜物と存じます。

20世紀から21世紀にかけての30年間、わが国の経済情勢は激変し我々の生活様式や、価値観も多様化するなど社会全体の様が大きく変わってくるとともに、少子高齢化が急速に進展してまいりました。このような状況にあつて社会福祉制度の大きな転換が行われ、介護が必要な状態になっても自立した生活ができるよう、高齢者の介護を社会全体で支え合うことを目的に介護保険制度が導入されました。これにより軽費老人ホームの入所者は、要介護になっても介護保険サービスを利用し生活を継続できるようになりました。

軽費老人ホームは契約施設ですから入居者確保という観点からも、施設自身が様々な魅力を持つ必要があります、そのためには30年間に培ってこられた専門知識や技術を活かし、入所者の多種多様なニーズを真摯に受け止めつつ地域社会と連携し、地元の皆様へ開かれた施設づくりが何よりも重要です。大阪府としても魅力ある施設づくりへ向けて知恵を絞り、全力を挙げて支援を行いますから当施設におかれても、より一層のご精励をお願いいたします。

現在入所されている皆様には今後もお元気な毎日を過ごされるよう祈念し、来友館のご発展とご多幸を心からお祈りして、お祝いのことばといたします。

お祝いの言葉



大阪府社会福祉協議会 常務理事 葭 矢 忠

軽費老人ホーム「来友館」の創立30周年、誠におめでとうございます。

貴施設は昭和48年5月に開所されてから、常に入居者の方々に明るくてぬくもりのある生活の場を提供され、先導的に地域に密着した福祉実践をされ、大阪の社会福祉事業に貢献されてこられました。西座理事長をはじめとして、役職員の皆様の献身的なご努力をもって、来友館を築いてこられた歴史に深く敬意を表します。加えて西座新二施設長におかれては、本会老人施設部会の軽費分科会長並びに全国老人福祉施設協議会の協議員として、部会活動に多大なご尽力を賜わるなどご貢献いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

今や我が国は、世界に例を見ない急速なスピードで人口の高齢化が進んでいます。私たちが迎えるこの超高齢化社会の到来は、現在の高齢者福祉制度そのものに様々な形での改革を求めてきています。軽費老人ホームは「高齢者の尊厳」を具現化する上で、その役割は益々大きくなっており、心の豊かさを大切にする暮らしに向けての多様なニーズに沿ったサービスを開拓していくことはもちろん、地域福祉サービスの拠点として施設機能を広げていくことが、これからの軽費老人ホームに求められます。

貴施設は設立当初から充実した様々なクラブ活動や地域住民と密着した行事活動を行い、さらに、一人暮らし老人に対する給食サービス事業など、地域に根ざした活動を推進されてきておられます。貴施設の入居者および地域の高齢者の方々に対する真摯な取り組み、そして、献身的な行動力は今後とも大阪の社会福祉事業を牽引される施設だと確信しています。

この節目の年を機に、来友館の歌「来たれや友よ」の題の通り、慈しみあう人々が集う貴施設が、より一層のご発展を遂げられますよう、心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

お祝いの言葉

大阪府社会福祉協議会老人施設部会長 三 上 了 道

軽費老人ホーム「来友館」の創立30周年を心からお慶び申し上げます。

大阪の福祉の大先輩である西座正蔵先生が「来友館」を開館され、今日まで立派に育てこられ発展の一節を迎えられました事は、誠におめでたくお慶び申し上げますとともに、深く敬意を表するところでございます。

30年前といえば、ちょうど日本の社会福祉事業が軌道に乗り始めたころです。この間、“友来館”の名が示す通り多くの高齢者の人々が、先生の慈愛のもとに安心して和やかに、楽しく過ごされてこられた事と存じます。今、高齢者事業は大きく変貌しつつあります。介護保険制度になって住居と介護の分離が見られ、何処に行っても介護を受けられるようになったいま、施設体系も大きく変わりつつあります。

施設での高齢者の介護や生活の質もますます向上し、どのような環境と施設のもとで生活を支え、また介護を選ぶか選択肢が多くなって来ています。今後軽費老人ホームが制度的に福祉施設として、そのあり方が問われ役割が注目されていくものと思われまます。

一方、施設経営においても福祉の志と近代経営の感覚の両方が必要になってまいりました。来友館におかれましては西座新二施設長が、理事長の志を見事に受け継がれ、企業で身につけられた近代経営学を兼ね備えておられ、現在は大阪の軽費老人ホーム分科会長として、老人施設部会の副部会長として、全国老施協の協議員として、気鋭に満ちた新時代の指導者として活躍されています。

制度がいかに変わろうとも高齢者の幸せを願い、生活を支える福祉の目的は変わるはずがありません。これまで事業に込められた魂は今後さらに年輪と共に浸透するものと存じます。後に続くわれわれにもご指導賜りたく存じます。

来友会 30年の歩みに寄せて



全国軽費老人ホーム協議会会長 山中 拓 治

軽費老人ホーム「来友館」の創立30周年、真に心からお喜び申し上げます。

思えば私と来友館との出会いは親子2代のお付き合いで、今年で20周年となる全国軽費老人ホーム連絡協議会の設立からです。それは西座正蔵理事長が設立の発起人だったからです。また、西座理事長は軽費老人ホーム受念館の岸上正暢理事長とは昵懇の間柄で、共に本会の設立に際しての功労者でありました。

ご二人の印象は共にダンディで、やることなすことが粋であったということです。そんなお2人には生まれて初めてキャバレーにご招待して下さった訳ではありませんが、後日、事務局を任された若輩者の私を暖かくご指導下さり、ここに改めて御礼申し上げます。次に西座新二施設長とのお付き合いですが、私が会長職をお引き受けしてからになります。お人柄とお気持ちが特にわかるようになったのは、西座施設長が本会の副会長職になられてからです。

年が近いせいばかりではなく合理的な側面と、思考回路の分析ができればというより、微調整でことの成り行きを理解し合えることです。それは得難い同志、作戦参謀を得たことです。何となれば、昨今の軽費老人ホームを取り巻く環境は、あらゆる場面で戦時下にあると言わざるを得ないからです。そして、このことは独断専行の組織や官僚組織、あるいは企業との戦いでもあります。

しかし、時は私達に味方しており、これまでの諸先輩方が培われてきた「住まいと暮らし」は、今や時流の本流となっており、知恵と勇気のスマートさもしっかり受け継いでいると静かに自負しています。そんな現状をこの場を借りてお知らせし、貴館が益々のご発展されますよう祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。

創立30周年を迎えて



元大阪府議会議員 理事 植野 一

地域社会の福祉の先駆者として輝かしい実績と、信頼を積み上げておられます
軽費老人ホーム「来友館」の、創立30周年を心から御祝い申し上げます。開館以来
高齢者の「やすらぎの施設」として敬愛され、信頼の和を大きく広げてこられまし
たが、これらは西座理事長の老人福祉に対する深い識見と尊い熱意の賜物であり、
併せて職員関係者のご協力によるものと敬意を表します。

特に近年の政治経済の混迷による財政事情の悪化は、高齢者を直撃する「医療費
の患者負担引き上げ、介護保険制度の創設、厚生年金の引き下げ、福祉法人施設へ
の補助金の打ち切り」となり、高齢者福祉を取り巻く環境は一段と厳しい状況にあ
ります。そうしたなか来友館では、施設利用者皆さんの生活をより楽しく有意義に
するために地域の皆さんや、ボランティアの方々の協力を得ながら行事を企画・実
施され、時には館外を出ての桜見物や小旅行にレクリエーションなど、西座理事長
はじめ職員のご活躍とご苦勞には頭が下がります。

到来しつつある高齢化社会の課題には難題が山積みしていますが、これらの対策
は部分的な修正では無しに、日本の社会構造全体の中で長期の体系を構築し、国民
にその指針を明確にすることが、高齢者福祉にとって大切だと思うのですが、「来
友館」の理事として西座理事長とともに、これまで30数年の福祉を見つめ、携わっ
てきた1人として、現在の国の福祉政策の先行き不透明は関係者の不安を一層増幅
する以外になにもものでもありません。

創立30周年を迎え、高齢者の「やすらぎの施設」として入館者の処遇の向上、福
祉の充実を目標とする理事長はじめ職員の方々には、ご苦勞の多いこととは思
いますが、来友館発展のため、なお一層のご活躍を祈念して祝意と致します。

開館30周年に思う

理事 鵜 美枝子

30年前といえば老人の人口と若い家族とのバランスが取れていたように思いますが、現在ではかつてない高齢社会となって1人暮らしの老人も増えています。そうしたなか先見の明で福祉事業の「来友館」を設立され、運営されていることは誠にありがたいことです。

老人ホームの仕事は休みという日がなく、役職員の皆様本当にご苦労さまです。昨今では家族と同居しても仲間に入れてもらえず、食事も1人で食べたり無視される淋しい老人の話などを見聞きしますと胸の痛む思いです。入居されている方々も様々な生活環境があり精神的に色々な経験をされてのことで、色々不安があったことでしょう。

来友館は春にはお花見、毎月の誕生会、1泊温泉旅行と行事があって生活を営むことができ、職員の心のこもった料理を楽しんで、人生のゆとりを感じている入居者もおられるでしょう。やはり毎日を仲良くなった仲間と話したり、趣味のクラブで日々の生き甲斐を持って、楽しく生活するために心の持ち方を明るくしたいし、何か役に立つ事が見つかれば幸せだと思います。

発刊を祝して

理事 杉 岡 重 治

「来友館30周年の歩み」の刊行を心からお慶び申し上げます。

1973年に社会福祉法人来友会、軽費老人ホーム来友館が設立され、今般30周年を迎えられたことは誠にありがとうございます。一言で30年といえば簡単ですが、理事長はじめ職員の皆様には大変ご苦労されたことでしょう。

近年、老人福祉も急速な高齢化社会を迎え、政策的にも施設福祉中心から在宅福祉へと転換が始まり、措置から契約の時代へと移行しています。老人ホームは在宅福祉分野の事業を併設し、地域サービスと施設サービスの融合化を進めるなど、地域サービス拠点としての地位確立が必要とされています。

さらに、あるべき姿を求めて新しい高齢者像のもとに、より高度なサービスの質と量に介護の視点が求められています。いずれにしても激動の時代を迎えた今日、利用者から常に選択され続けるには常に顧客満足を第一に掲げ、施設に特色を持たせて施設のテーマの実現に向けた取り組みが必要です。職員の皆さまには30年の歴史を振り返るにとどまらず、新しい歩みの糧として今後益々のご活躍をお願い申し上げます。

韓国・ソウルの老人ホーム

理事 田 中 隆 英

西座正蔵理事長が、堺市の龍神木材社長として活躍されていた昭和63年8月、韓国・ソウル旅行に誘われて2泊3日のツアーに同行した。大阪国際空港に行ってみると参加者は私達2人だけ、「他の団体に合流するのか」と尋ねると、あくまでも2人での行動だという。ソウル金浦空港に着くと若い女性ガイドが出迎えていた。こんなツアー経験は初めてだと予定の観光コースを拒否して、私達の思い通りに案内してもらうことを希望した。

昼食は焼肉にしようなど我が侘一杯。その度にガイドは本社に連絡して指示を仰いでいる。私達の移動はすべてタクシーを利用、夕食はソウル在住の知人趙炳世氏の招待を受け、女性ガイドも同席して親交を深める。翌日は趙氏の自家用車でソウル市内にある私立「清雲養老院」に向かう。この養老院は10年前に西座理事長が訪問されての2回目、趙さんは日本人が寄付されるのに私が知らん顔は出来ないと寄付を申し出る。これを見たガイドは涙を流さんばかりに感謝し、「こんな日本人に会ったのは初めて、大阪に行く機会があれば再びお会いしたい」と心からの握手を交わしたが、西座理事長の仁徳ある旅でした。

創立30周年のお祝い

評議員 倉 重 龍 馬

来友館創立30年おめでとうございます。昭和30年代の高度成長期を経て40年代に入るとぼつぼつ歪みが出かかり、石油危機を迎える大変困難な時代に現在の高齢化社会の到来を見据えて、来友館を創立されたご慧眼と勇氣に心から敬意を表すものです。爾来30年の運営には一方ならぬお悩みや、ご苦労があったことと存じますが、理事長はじめ職員ご一同様の入居者に対する愛情と努力で、現在このような大きな節目を迎えられ心からお慶び申し上げます。

3年前の平成12年度から老人福祉に介護保険制度が導入され、それを機に色々な業者が雨後の筍の如く老人福祉関係に参入し、この業界も先端産業扱いされるようになって参りました。然し、何か大事なものを忘れ上辺だけで騒いでいるようで心配なことです。来友館には30年間の苦勞の蓄積と実績があり、これから成果が期待できます。出会い触れ合いの場である来友館、人と人の心がつながった思い遣り、気配りが大切です。この気持ちは簡単に出来るものではなく、長い間の経験で自然に出るものと思います。より一層精進して明るくて楽しく、安心して過せる来友館としての発展と清祥を祈念します。

開館30周年に思う

リーダー 柿元 キミ子

来友館の開館30周年の記念する年に仕事をさせてもらっている私、ありがたいと思っています。以前によく理事長や専務から開館当時のことを、いろいろ教えてもらいました。当時は元気な入居者が多かったが、現在は高齢化社会到来による状況の変化にともなって、精神的な心のゆとり介護が出来にくくなり、介護地獄が生じたり痴呆性高齢者問題など、施設の役割も非常に重要化して来ています。

このような問題解決のため社会全体の責任や、支援の仕組みとして介護保険制度が開始され利用されています。来友館でも虚弱者増と高齢化により、補助具を利用したり介護サービスを必要とする人も多く、家族の方からも申し出されています。そうした人々に必要なサービスが出来るよう、それには利用者の立場に立って共に歩み寄ることも大事かと思えます。

人生は一回しかありませんが、その時代は移り変わっても人の心・思いを大切にしなければと思っています。日常生活の中で喜びと感動を見つけ、一日でも長く付き合い出来るよう願っています。開館30周年という重みを感じ、先輩の皆様方に残して頂いた信用と業績を汚さないようにして行きます。

ケアスタッフ チーフ 根来 ユリ子

開館30周年を無事故で迎えられましたこと本当に嬉しく思います。館長ご夫婦はじめ関係者の方々には大変ご苦勞があったことでしょう。過ぎてみれば早いもので私が勤務に就いた頃に比べ、入居されている方も大半の方が入れ替り時の流れを感じます。

皆さんも入居当時は覚えなくてはならない事も多く、色々なことに不安を感じて一通り慣れる迄は大変だと思います。しかし、一カ月ほど過ぎると次第に笑顔も出て、話しかけられることも多くなり職員もホッとします。介護保険も導入されヘルパー介入で生活される入居者もいますが、どなたにも使命がありなくてはならない人達です。一人ひとりを大切に思い、いつも幸せと笑顔と喜びに満ちあふれるよう願っています。

人間関係をスムーズにするにはスマイル、コミュニケーションはどんな人にも通用する用語です。私も明鏡の心でスマイル、コミュニケーションを継続できるよう努力して行く決意です。

開館30周年に思う

ホールスタッフ チーフ 竹田 和子

平成5年の年末からの勤務ですが、それから早いもので10年目があと半年で過ぎようとしています。福祉関係のこと老人ホームの仕事など全く知らずに勤めたため、ただ一生懸命に先輩の皆さんの仕事について行くだけで精一杯でした。そして入居者の皆様との接し方など色々な勉強をさせて頂きました。そして仕事を通じて調理、介護職の資格も勉強して取得しました。

それに他の施設への研修、講習などにも参加させて頂き、私にとっては思ってもいなかった事を沢山経験させてもらい良い勉強になったと思います。それに、この歳になって自分で勉強して資格を取ると言う事は考えてもいませんでした。また、来友館では旬の物の季節になると手作りの梅干し、梅酒、紅生姜漬け、旬の食材も献立てに沢山取り入れ、それは普通の家庭以上に食事も豊富で、とても老人ホームの食事の献立てとは思えません。行事などについても開館30周年の伝統を出来るだけ守って行くようにと思っています。

現在は以前と違って若い職員が沢山増えましたが、この人達が長い間務められるように頑張ってもらいたいです。私が職員となった頃は「職場のルール」という事には厳しかったように思います。最近では先輩職員の突然の死、交通事故の後遺症で退職される悲しい事もありましたが、これからも入居者の皆様が元気で過ごせるようにと祈っています。在宅サービス事業も順調で喜ばしく将来を楽しみにしています。

看護スタッフ チーフ 宇賀昌代

「広義の社会的支援」という意味における福祉は古くから存在し、厩戸皇子（聖徳太子）や光明皇后が、「悲田院」に行き倒れを保護したと「六国史」に記されており、弱者保護の思想が一般に「福祉」の始まりでした。

1980年代から先進国の多くで医療と、福祉サービスを一体化するシステムを創造する動きが、盛んとなり出したのが約20年前の事です。来友館の歴史は開館30年を迎えましたが、館長はじめ諸先輩職員の努力と苦勞に敬意を表します。私はその土台の上で仕事の出来る喜びを感じます。

ストレスの多い現代社会ですが、健康に留意して健やかな人生が送られることを祈念して仕事に励みます。入居者の皆さんはお花見会、お食事会、一泊旅行などに参加され、輝く笑顔で喜んでいる姿が大変嬉しく、ますます活気に満ちた来友館となるよう、私達職員一同協力して行きます。

開館30周年に思う

栄養士 西 浦 由佳子

開館30周年と聞いてすごく重みを感じるとともに、私よりも長い歴史があるんだと知りました。まだ来友館に勤務して5年も経っていないため、30年に比べるとほんの僅かな時間です。その間にも入居者がより生活のしやすい施設へと変化しています。エレベーターの設置、在宅介護事業所「らいゆう」の設立など、私の知っている5年間でこれだけの変化ですから、30年の変化を想像することは出来ません。

ただ言えることは、これからもよい方向に変化して入居者の方に、満足して頂ける施設へと成長して行くだろうということです。よりよい変化への期待のなかで私も来友館とともに、成長して行けたらと思います。

事務員 阪 口 和 子

社会福祉法人「来友会」創立30周年おめでとうございます。私は勤め始めて3年半になりますが、30年の歴史のほんの1コマですね。

食事の献立や様々な行事などがあり、とても季節を感じさせてくれる所が来友館の魅力だと思います。もう一つは、その中で生活している入居者の方が、私の想像よりも明るく元気だという事です。その魅力を活かせるよう職員として頑張り、皆さんと共に楽しんでいきたいです。

ケアスタッフ 服 部 敦 子

開館30周年おめでとうございます。今年の6月で勤続3年を迎えた私ですが、これまで館長はじめ職員の諸先輩から多くの苦労があったことを伺っています。来友館では昔から職員が出来る限り自分達でやろうという考えがあり、梅干しや紅ショウガ、ラッキョ漬けに味噌仕込みといった保存食作りは今でも行っています。入居者の方にも手伝ってもらいながら、皆んなでワイワイ語り合いながらの作業は、家族とやっているようで楽しませてもらっていますが、こうした光景は、昔はどこ家庭でも見られたものでしょう。

「ここまで手作りですか?」と驚いたのは、一昨年行った食堂の椅子張り替え作業です。手にマメが出来て痛い思いをしましたが、食堂の椅子を見ては入居者の藤村さんに手伝ってもらったことを思い出します。「来友館から離れたくないわぁ」、老朽化が進み多少不便な施設でも、そう思ってもらえる施設であり続けてほしいと願っています。

開館30周年に思う

ホールスタッフ 青木 一 恵

開館30周年と一言でいうと簡単ですが、「オギャー」と生まれた子供が30歳の大人になる月日ですから、すごいことだと思います。私は勤務してから2年ちょっとですが、その間にも誕生会、お花見、開館記念式典、敬老の日家族会、一泊旅行といった行事に参加し、来友館に勤めていなかったら体験できなかった楽しい思い出ができました。

入居者の皆さんも何年、何十年と来友館で生活されたなか、良い思い出も沢山できた事と思います。入居された当時より齢を寄せられて足が痛くなったり、腰痛に悩んだりして体調の優れない日があると思いますが、元気で生活できるよう頑張ってください。

ケアスタッフ 木本 和 紀

来友館は私が生まれる10年も前に出来ていたことになりますが、今でもこの施設があるのは皆さんが大切に使用して来た証拠だと思います。私は職員になって2年しか経ちませんが、これからも入居者の皆さんが安心して楽しい生活が送られ、よかったと思われるよう努力して行きます。

ホールスタッフ 坂本 晴 美

来友館は私が生まれる10年も前から、この地にあることを知りました。開館30年で施設自体は立派とは言えなくなりましたが、入居者の皆さんや職員が協力して清掃に励んでいる事もあり、その年代を感じさせないほどきれいです。来友館に勤務して雄大さに気付いたのは、庭の樹木を目にしたときでした。どこかの森に迷い込んだしまったように、大木が青々と生い繁っていますが、皆さんも今一度庭の樹木を見上げて下さい。

宿直専任 東 久 子

来友館が開館30周年を迎えました。30年といえば女の子供であれば、子供の母親となっていることでしょうね。私は宿泊係としてもう8年になります。朝5時半と夜7時、それに9時に入居者の部屋を巡回します。私を信用してか貯金通帳を見せてくれる人、仲人してくれる人など色々あります。

開館30周年に思う

来友館で一番に思うのは食事の良いこと、一人暮らしではこのようなご馳走を食べる事は出来ないと思います。「来友館においでよ」と言ってあげたい気分です。ある入居者の方は各施設を見て回ったそうですが、来友館が一番よかったと話してくれました。初めて来られた入居者の方ですが、とてもメソメソしていました。どうも息子さんからパンチをくらっていたそうです。でも今ではとても元気になり当時の暗さはみじんもありません。「来友館に入居して良かったですね」と言ってあげたいです。

私が宿泊係となった当初の入居者の話ですが、「今度の宿泊係は女の人らしいね、いつまで続くかしら」と話したそうです。すると最年長入居者の水野さんが「大丈夫、大きなお尻をしているから」と言われたそうです。色いろなことがあります「頑張らなくっちゃ」と思います。

在宅介護事業所の皆さん

サービス提供責任者 山本政子

来友館が開館30周年を迎えました。30年といえば沖縄の本土復帰とオイルショックがありました。私事ですが、この年に長女が生まれました。洗濯物が増えたのに店頭から洗剤や石鹸、トイレットペーパーが消えました。初めの頃は少量ずつですがスーパーに有りましたから、さほど不自由に感じませんでした。それも見えなくなり普段は見向きもしなかった雑貨屋からも品物の姿が消えて困りました。地方に嫁いでいる姉に聞くと「こちらには沢山ある」と言われ、早速送ってもらいました。

このような時に来友館の建設が始められ、資材の調達に関係者は大変なご苦労をされたと思います。数年前には食べ慣れた国産米が品不足を起し、タイ米やカリフォルニア米が入荷し初めて見ました。来友館も創立30年、この響きに関った方々はどのように聞こえるのでしょうか。30年間の色々なことが走馬燈のように、脳裏を駆け巡っているのでしょうか。今後、40年、50年と来友館が存続し続け、地域に溶け込み根付くよう期待します。

ヘルパー 北筋靖代

ホームヘルパーの仕事をするまで自分の老後について、深く考えたことはなかったのですが、この仕事を通じて考えることが多くなりました。沢山の方と接して行くなかで相手に対する思いやり、優しさを持つことの大切さを改めて感じさせられました。今以上に来友館の発展することを願っています。

開館30周年に思う

ケアマネジャー 岩本 有津子

来友館が開館30周年を迎えたが、その歴史のなかで私は3分の1もおりません。ここ数年は福祉の職場がもてはやされ、若い人の間でも福祉関係の専門学校に通ったりで、広く世の中に知られるようになりましたが、私は全くの素人で来友館の職員となりました。求人案内にも「調理と寮母の仕事で月1～2回宿直の出来る人」とあり、案外簡単そうな仕事なので申し込みました。

しかし、仕事は簡単ではありません。色々と辛い思い出もあり皆さん先輩の方ばかりで、指導の内容も厳しかったように思います。新米の頃は仕事に無駄口はきかず、1～2年は痩せたものですが、それゆえに今の私があると感謝しています。調理の仕事を覚えるのに最低3年は必要ですが、寮母の仕事はもっと大変なのです。

時間内にする仕事も掃除、洗濯、入居者のお世話やレクリエーション、相談など何でも有りなのです。それをやって1日が終わりますが、相手のある仕事なので気を遣います。こうしたなか、はたと我にかえって考えることがあります。「なぜ親の面倒もまともに見ない私が、老人ホームで人様のお世話をしているのか」と。すると神様が答えます。「罰が当たってお前を教育しているのだ」と。皆さんと毎日顔を合わせるのも、何かの縁とあって頑張って来ました。

それが今年4月の移動で居宅介護支援事業所「らいゆう」のケア・マネジャーとして勤務することになりました。全く職種の異なる仕事ですが、専門知識を身につけて、介護保険を利用されるお年寄りの方々に、本当によかったと喜んで頂けるよう努力して行きます。

ヘルパー 奥上 信江

来友館の2階から3階にかけては、当時を思い出す旅行の写真が飾ってあり時代の流れを感じさせる1枚1枚です。2000年4月から介護保険制度が導入され、ヘルパー派遣が実施されましたが、私はそのヘルパーとして利用者の皆さんの身体介護、家事援助のサポートをしています。両親は他界していませんが、自分の両親が生きていたらと思って接するよう心掛けています。

これまで元気に生き抜いて来られた人生の大先輩の方々です。こちらがパワーをもらうことだってあります。来友館は散歩、通院にとっても便利の良い所にあり、若いケアスタッフに囲まれて親子三代が生活しているようなものです。これからも楽しかったと思えるような日々が送れたら幸福ですね。

開館30周年に思う

ヘルパー 井上 寿佳恵

ホームヘルパーとして早2年が過ぎます。私事ですが、平凡な主婦からヘルパーとして福祉事業の一端に携わるようになり、自分自身が社会勉強の出来たことや、お年寄りの方を身近に感じられるようになりました。今後は一層の少子化・高齢化社会を迎えますが、来友館の果たす役割は重要と思います。

ヘルパー 大河原 みちえ

来友館を頼って入居されるお年寄りに、私達は人として生きて行くために忘れてならない愛情を、病気などの悩みに挫けず前向きな勇気を。来友館こそ「人生の楽園」と喜んで頂けるよう、職員一同力を合わせて頑張らしましょう。

ヘルパー 池宮 九美子

来友館が30年も前から社会福祉に携ってこられ、館長さんには頭の下がる思いです。一層の高齢者社会のなか喜ばれる施設となるよう頑張ってください。



ヘルパーステーション内



在宅介護事業所

開館30周年に思う

元職員 政 埜 洋 子

今から約30年前に来友館が出来るとき、私は事務員をしていました。社会福祉法人の設立当初は、とても書類が大変だった事を思い出します。西座理事長と毎日書類作成に走り回り、それを持って府庁に出掛けました。何カ月もかかって分厚い書類が完成し、やっと厚生大臣の印をもらったのです。ところがその書類の中に1カ所、来友館の住所で春日町2-7と書くべき所を、春町2-7と書いて「日」が抜けていました。そのため大臣訂正印をもらいに朝の新幹線で東京に行ったことがあり、来友館設立当時の懐かしい思い出です。

あれから30年、私は社会福祉法人の書類より、むずかしい書類作りに出合ったことがないと言っても過言ではありません。理事長には書類作成とともに福祉の精神も指導頂き、その影響もあって、一昨年は非営利活動法人(NPO)を設立し地域の皆さんと頑張っています。今後も来友館の活躍を祈り上げます。

元職員 福 田 多 恵 子

入居者、職員の皆さん、ご無沙汰しています。私も結婚・出産してアッという間に17年が過ぎました。その時の子供が早や高校生です。生まれてすぐの我が子の顔を見て下さった入居者の方は、もういらっしゃらないのではと思うと寂しい感じがします。来友館に勤め始めたころは、まだ成人式を迎えたときで右も左もわからず、お年寄りと共に生活したことすら全くなかったので途方にくれました。でも、館長や職員の皆さん、もちろん入居者の方々の暖かい心で、毎日少しずつ自分なりに栄養士の業務をこなして行けました。しかし、二歩進んだかなあと思っても一歩下がったりの状況でした。

勤務中に入居者の皆さんと交した言葉の数々、いろんな顔が今も眼を閉じると浮かんで来ます。会ってお話をしたい方も沢山、バドミントンや麻雀もしましたね。カラオケクラブは今も続いていますか。宿直は本当に辛かったです。でも翌朝、食事を作って入居者の皆さんが1階の食堂に来られた時は、ホッとすると共にすがすがしい心地よさ、今でも懐かしく味わいたい気分です。

来友館という老人ホームは、何事にも人の温かみがあるホームだと思います。市街地の近くにあるからだと思いますが、もっと他に何か奥底から出て来る優しさがあったと思います。とかく老人ケアが商業ベースに乗せられがちな近頃ですが、来友館のように地道な老人福祉への接し方を、いつまでも続けて行ってほしいと思います。職員の皆さん大変だと思いますが頑張ってください。

開館30周年に思う

元職員 地 崎 洋 子

母が死去して久しいが、やはり晩年は痴呆症に悩まされました。いつも家族全員が集まるのは正月、それに5月の父の命日と8月のお盆です。5月の母の日に帰省して私達子供が、母に「何か買ってほしいものがあるの」と聞くと、「優しい言葉がほしい」と言いました。これほど悲しくて切ない言葉があるでしょうか。母は長男夫婦と同居だったが、お互いに意見の食い違いもあって気の毒な晩年でした。老人ホームへの入居も勧めましたが田舎のこと、また、理解のなかったことも災いしました。入居者の方も優しい言葉が何よりでしょう。

私だってこの先、もし何処かの老人ホームに入居するようなことがあれば、立派な建物よりも心暖かく悩みを傾聴してくれ、的確なアドバイスをして頂き決断は本人に促す。こんなホームなら安心して入居したいと思います。いつも受容の姿勢でいてくれる職員、いろんな制度で変わりつつあっても、お年寄りの心が求めるものは、ずっと変わることはありません。入居者は一度や二度で心を開いてはくれませんが、悩みを聞いてほしくて待っているのです。心のお花畑が出来ますように。

元職員 池 浦 憲 子

来友館の職員となったのは昭和53年8月20日でした。お年寄りという子供より扱いにくいと思っていましたが、2カ月が過ぎた頃から名前を覚えて頂き、「池浦さん」と呼んでもらうようになり、それが嬉しくて仕事に励んだことを思い出します。職員となるまでは老人ホームといえば孤独なお年寄りの集団生活、プライバシーのない人の集まり、拘束による不自由で生き甲斐のない生活と思っていましたが、来友館の入居者は皆さん明るくて、寮母の行くところ笑顔でいっぱい、楽しい施設だなあと感じました。

入居者の中には孤独な心が捨てきれないで、私達がいかに親身になってお世話をしても、なかなか心を開いてもらえないため戸惑うこともありました。また、開館記念日や敬老の日に入居者と一緒に歌や踊り、寸劇をしたこと、共に仕事をした職員との別れや悲しみもありました。ところが私が通勤中に交通事故に遭って治療を受けましたが、思わしくなくて来友館を退職することになりました。好きな仕事だっただけに残念でなりません。理事長、施設長はじめ職員や入居者の皆さんにはお世話になりました。今は良い思い出として心に残っています。

開館30周年に思う

元職員 葛城 時子

昭和50年3月から来友館に職員として、勤務することになりました。平成2年5月に定年退職しましたが、その間を思い起こせば、やはり手作りの料理です。私は料理を作るのが大好きですが、今はテレビの料理番組を見たりして、血液サラサラの野菜をよく食べています。

館長は「入居者の皆さんに喜んで頂ける料理を」とよく言っていました。お年寄りには食事と風呂が楽しみです。私も老人の仲間に入る年になってよくわかりました。今後は毎日を大切に感謝の気持ちで過そうと思います。館長ご夫妻も健康に気をつけて来友館のために、職員と共に頑張ってください。

入居者座談会の写真



倉田 さちき さん



近藤 妙子 さん



伊吹 きみ さん



紀伊国谷 勇雄 さん



熊本 文子 さん

開館満30周年記念座談会

入居者座談会

司会：事務長 吉田基幸

【出席者】

近藤 妙子（大正2年10月3日生まれ89歳）来友館開館の翌々年昭和49年
入居東京都出身。入居者の代表的な存在です。

倉田 さちき（大正7年6月13日生まれ85歳）平成7年4月入居、北海道出身。
手芸が大好きで開館記念日、敬老の日などに展示し大好評。

伊吹 きみ（大正4年10月19日生まれ87歳）平成7年5月入居大阪市出身、
疎開で泉佐野市へ。興奮すると血圧が200を超えるが活力は抜群。

熊本文子（大正9年2月3日生まれ83歳）平成9年8月入居、和歌山出身。
園芸、踊り、カラオケ、民謡と多趣味、全部入居してから始めた。

紀伊国谷 勇雄（大正12年4月24日生まれ80歳）平成元年9月入居。自分のこと
は自分するのがモットー、手のかからない入居者職員投票一位。

●来友館に入館した時のことを教えてください。

倉田 平成7年4月に入居しました。それまではずっと北海道で生活していました。
検査で胃にポリープがあるといわれ、手術をするために娘夫婦の住んでいる泉
佐野市民病院に入院しました。退院後すぐ北海道に帰るつもりでしたが引き止
められ、それならばと来友館に入居しました。

伊吹 倉田さんより1カ月後の平成7年5月に入居しました。もともと泉佐野で生
活していましたが、長男が和歌山に住居を新築して一緒に行きました。でも知
らない土地で昼間は皆んな働きに出るため淋しいことこの上なし。これではボ
ケてしまうと思い2年で泉佐野に帰りました。幸い娘が来友館の近くに居るた
め軽い気持ちで入居してもう8年になります。

熊本 昭和53年に主人が死去して21年間は大阪市住吉区山坂という所で1人暮ら
しをしていました。淋しいし心細くなって来たので主人の妹に相談し、区役所
で紹介してもらって来友館を見に来ました。入居して慣れるのに1年くらいか
かったように思いますが、明るくなったと言われます。

紀伊国谷 もう入居して8年になります。えらい昔のことで当時のことは忘れてし
もた。そのくらい勝手気ままに暮しています。泉佐野育ちですが、来友館のこ

とは知りませんでした。市役所で教えてもらいました。

●今の生活はどうか。

近藤 この年齢までお世話になってよかったと思います。書道クラブで楽しんでいます。クラブ活動も昔は多くの人に参加していましたが、今は随分少なくなりました。それが淋しいです。娘も息子もよく来てくれるので何も言うことはありません。

伊吹 新しい入居者の人達は若い人が多いため、なかなか話が合いません。もう88歳になるので仕方ないとも思いますが、大きな不満はありません。

倉田 娘夫婦が近くにいるので安心です。手芸が好きなので1人でも楽しめますしクラブ活動でも楽しんでいます。

熊本 時々腹の立つこともあります。すぐ忘れる性格なのでまあなんとか。規則にしばられるのは嫌ですが、人に迷惑をかけない程度に気ままに暮らしています。“まあこんなもんか”という感じです。

紀伊国谷 10年ほど前から長生会の支部長をしています。月に1回奉仕活動として春日公園の清掃奉仕に行っていますが、参加者は大体15人ほどでもう少し参加してくれたらなあと思います。最初は2年で交代する約束で引き受けたのに誰も代ってくれませんが、動ける間は頑張ります。

●楽しんでいる事、悲しく辛かったことを教えて下さい。

紀伊国谷 週に1回必ず行くパチンコが楽しみです。隣の貝塚市や泉南市まで行くこともあります。調子の良い月と悪い月が交互に来ます。来月は良い番に当たるので楽しみです。一緒にパチンコに行ったこともある西畑さんが亡くなったのが悲しいことで、もう4年近くになります。

熊本 朝食後に畑へ行くのが一番の楽しみです。今は花が少ない時期ですが、今年はスイカが大きな実を付けました。1日ごとに大きくなるのを見るのが何よりの楽しみです。4年ほど前からスイカを作っていますが、今年が一番よく出来たと思います。

倉田 スイカを見るのも楽しいですが、皆んなで食べるのを楽しみにしています。10個以上出来ているので園芸クラブの人達で1人1個ずつ食べようと言って笑われました。園芸は世話をしたらそれだけのことが返ってくるから楽しいです。1人の時は部屋で手芸をしています。

伊吹 4階のベランダで園芸クラブの人達とサボテンを育てています。4年ほど前のことですが、親指ほどの小さいのを4～5個もらいました。今では野球ボール程の大きさになり今年から花が咲きました。大きな白い花で真ん中がう

すい緑色です。夕方咲いて次の日の昼にはしほみます。2時間ほどで蕾から満開になりますが、その間皆さんとズーッと見ていました。写真に撮って記念にしています。

倉田 私はサボテンの花の咲きそうなのを娘の所に持って行き喜ばれました。

熊本 サボテンの花やスイカを見ると、この前急死された亀田さんのことを思い出します。もう少し一緒にいてほしかったです。

●その他なんでも結構です。希望も聞かせて下さい。

紀伊国谷 自分のことは出来る限り自分でするようにしています。自分の嫌いなことは他の人も嫌いだと思います。出来るだけ仲良くしていけたらと思います。去年は「手のかからない入居者」に選ばれ賞品をもらいました。

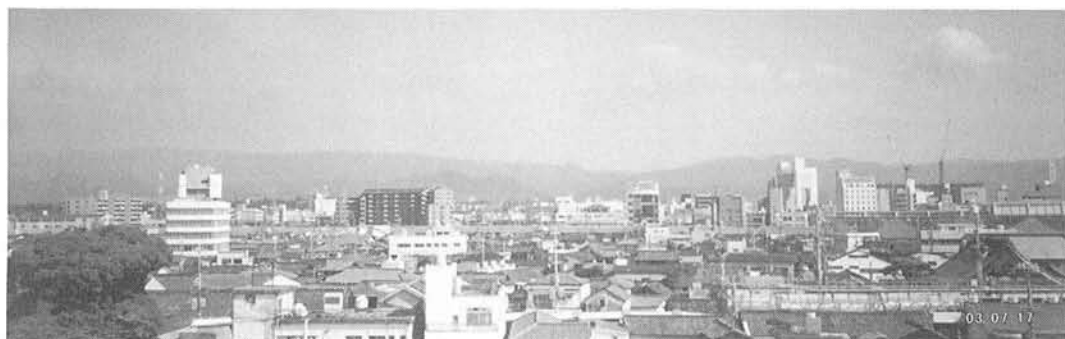
伊吹 もう88歳になりましたから機敏に動けなくなり風呂にはゆっくり入りたいです。血圧が高いのでゆっくりしていますが、口だけは達者です。

熊本 職員さんとも仲良く、私達も努力しますからよろしくお願いします。

倉田 私は北海道生まれですから暑いのは大の苦手です、風呂にシャワーをつけてほしいです。特に大阪の夏は湿度が高くて大変です。時々北海道の友達に電話をして愚痴を聞いてもらいます。

近藤 10年前の20周年の時も座談会をしたのを覚えています。その時出席された北条つるゑさんは、103歳で死去されました。今村さんは入院して館を去って行かれましたが、どうしておいででしょう。田中八重さんも亡くなられたし、中田淑子さんもついこの前……、1人ひとり欠けて行くのがとても淋しいです。ご冥福をお祈りします。

吉田 平成15年6月30日に話を聞かせてもらいました。皆さんなかなか本音が出てきませんでしたが、1時間30分の間にポツリポツリと聞かせてもらったことをまとめました。話が前後したり泉州弁でわかりにくい言葉や表現もあり、言い回しはちょっと変わった個所もありますが、言葉に込められた気持や真意は変わっていないと思います。



泉佐野市街地を臨む

クラブ活動

民謡クラブ

戸田 登代子 先生



社会福祉法人「来友会」創立30周年おめでとうございます。

民謡クラブの講師をさせて頂き早や13年が過ぎました。館長はじめ皆様方の暖かい励ましにより、今日まで務める事が出来ました。民謡はお腹から声を出しますが、大きな声を出すことで健康が保てます。1曲でも2曲でもマスターして頂き、開館記念日や敬老の日などで発表して下さい。

明るく、楽しく唄うことによりストレスも吹き飛びます。これからも微力ではありますが、皆様と一緒に頑張って行きますから、宜しくお願い致します。

皆様の参加をお待ちしています。

〈クラブ員〉 奥野 静子 伊吹 きみ 熊本 文子 藤村 文子
〈職員〉 竹田 和子 青木 一恵

書道クラブ

盛原 翠香 先生



来友会が創立30周年を迎えられ、心からお慶びを申し上げます。

今、ここに「来友館30年の歩み」記念誌に書道クラブを紹介するに当たり、最初に伺った当時の日記を開きました。先ず目に付いたのが昭和59年9月15日の「敬老の日」から始まっています。式典、交流（演芸会）のプログラムですが、当時の情景がそのままに思い出され懐かしく感じました。

当時は今ほどに高齢化もしておらず、書道クラブも沢山の人が賑わっており、楽しくお稽古いたしました。その1人が今も元気で練習に励んでおられます。本当に嬉しく思います。当初は毛筆ばかりで課題は自由でした。

現在の書道クラブは、毛筆、硬筆、ペン習字です。好きなものを選択し課題は自由です。クラブの皆さんが以前もそうであったように、「書」に対する姿勢が立派であり何ら変わらないこと、そして練習日を待っていて下さること、以前にも負けない楽しい一時を過していることに感謝します。「上手・下手」、「好き、嫌い」は言わずにこれからも頑張ってください。

現在、平均寿命が延びています。「あなたのパワー」そして「みんなのパワー」で、明るく元気に暮らせることを願っております。

〈クラブ員〉 近藤 妙子 白木ヌイ子 倉田さちき 中村 輝子
 山路かづ子 井上 幸子 石橋 勝代
〈職員〉 宇賀 昌代 西浦由佳子

クラブ活動

園芸クラブ



一時休止していた園芸クラブを再開してからもう20年になります。秋に植えたチューリップや鉄砲ユリ、ランタンキュラスなどが、4月には皆んな揃って咲き競うのは大変見事なものです。クラブに所属している人は現在7人です。この7人が花の他に自慢に思っていることが2つあります。

その1つは「スイカ」です。春の花が咲き終わった後に肥料を入れて、4月中旬にスイカの苗を植えます。5月初めには花が咲き、下旬にかけてスイカは次第に大きくなっていきます。毎朝畑に出てその様子を皆んなで見て楽しめます。今年は7月10日に12玉のスイカを収穫しました。一番大きいのは7キロもあり皆んなで食べました。

もう1つの自慢は「焼イモ」です。10月中旬の赤い羽根共同募金に合わせて、「チャリティー焼イモ大会」を行います。出入りの八百屋である根来さんにも協力を頂いて、おいしいイモを50本仕入れます。収穫の当日は朝早くから庭にブロックで釜を作り、大きな鍋に砂を敷いてアルミホイルに包んだイモを並べます。

釜焚き係やイモの焼け具合を見る検査係、焼けたイモを売りに行く販売係など、1個100円で仕入れたイモを200円で他の入居者や職員に買ってもらいます。皆さんおいしいと喜んでくれます。利益5000円は共同募金の箱に入れます。些細なことですが充実した1日です。何かの役に立てた満足感に浸れる1日です。

〈クラブ員〉 伊吹 きみ 藤村 文子 東海林タネ子 熊本 文子

紀伊国谷勇雄 倉田さちき 今本 アサ

〈職員〉 吉田 基幸

踊りクラブ



月2回活動しています。踊りといっても〇〇流というような堅苦しいものではなく、以前長年にわたってご指導いただいた大和谷トヨ子先生に教わったものを中心に踊っています。

今年の敬老家族会は十三浜（とみはま）音頭のビデオを見て覚え披露しました。

踊りはさまざまで、山形の「花笠音頭」や滋賀の「江州音頭」、沖縄風の「島のブルース」に歌謡曲の「松ノ木小唄」と練習は欠かせませんが難しい踊りばかりなので、気軽に入部して欲しいな、と思います。

また、踊るばかりではなく、「懇親会」と称して自分たちのご褒美にと外での食事を楽しむこともあります。去年の開館記念日に「島のブルース」を踊るため、沖縄風にと濃紫の布を買って皆でハチマキを作ったこともありました。

お誕生会や食事会といった宴席でも踊りますが、いつも同じ踊りになってしまうし、運動不足解消のために体操をやるような気持ちでいいので、興味のある方はどんどん参加して欲しいです。

〈クラブ員〉 熊本 文子 藤村 文子 山路かづ子 渡辺ハツ子
〈職員〉 柿元キミ子 服部 敦子

カラオケクラブ



- カラオケクラブ第1期生、若き頃は透き通ったいい声を出していたんですよ。さすがに陽気な私でも初めは1人で歌うのが恥しく、胸がドキドキしていた事を懐かしく思います。「皆さん覚えていて下さい」もし私が死んだらお坊さんのお経ではなく、カラオケの曲で賑やかに私を送り出して下さい。
- 友達に誘われてカラオケクラブ員になり、生れて初めてマイクを握って人前で歌いました。いまさら歌手になる訳でもなく、好きな歌を歌うだけです。小山先生や友達が一緒に口ずさみ調子を合わせてくれるので心強く心地よく歌っています。
- クラブに入った理由は簡単、歌が好きの一言です。クラブのない日はもっぱら部屋で歌番組を見ています。元気である限り歌い続けたいと思っています。
- 皆んなでいるととにかく楽しい。私流に歌を楽しむとは歌の詩で日常を思い直したり、曲に合わせて心も体もウキウキさせて楽しんでいます。体調を崩し声が出にくい時も、なにくそと思い歌い続けていたら随分声も出せるようになり、飛び上がるくらい嬉しかった。クラブに参加することは生き甲斐の1つです。白い花の咲く頃という唄を聴くと一番辛かった時の事を思い出すが、その辛さを乗り越えて今を生きていると感じられる唄であり、勇気が湧いてきます。
- 歌いながらその時々を思い出す。戦争の最中に青春時代を送った私、女学校の頃ナツメロが好きで初恋の人に、別れの一本杉をギターで弾いてもらいました。クラブで歌う事はストレス解消になり元気の秘訣です。陽気で暮らすのが私のモットー。氷川きよしの大ファン！第3の人生を有意義に暮らします。

〈クラブ員〉 伊吹 きみ 熊本 文子 藤村 文子 澤本 昭二
 中村 輝子 和田 澄子 東海林タネ子

〈シルバーさん〉 小山 和男

〈職員〉 阪口 和子

さんぽクラブ



さんぽクラブ、またの名を「三步クラブ」ともいいます。字の通りみんな三步ほどしか歩かないからそういうのです。山道をドライブします。車に乗っての散歩です。

水間寺にお詣りしたり春には桜、秋は紅葉の牛滝山へ行きます。今年の春は雨の中水間公園の桜を見に行きました。7月には道陸神社にお参りしました。通称「どうろくさん」、ここは腰痛、足痛に靈驗灼かな神様だそうです。足腰が痛くならないようお参りして来ました。ところが賽銭を出した財布を伊吹さんが忘れて来ました。翌日電話をしたところ社務所で預かっているとのことでした。本当に靈驗灼かな神様です。

山で食べるお弁当はコンビニのお弁当でも大変おいしく思います。こうして山歩き（車でのこと）が出来ることに感謝し、日頃生活の中で変化を楽しめることに感謝しています。次はどこに行こうか、皆んなで話し合うのも楽しいものです。参加したい人を募集しています。

〈クラブ員〉 藤村 文子 倉田さちき 熊本 文子 伊吹 きみ
〈職員〉 吉田 基幸

開館20～30年の歩み

平成5年

- 4月6日 お花見。根来寺、粉河寺を参詣する。
- 12日 泉佐野保健所で集団定期健診を行う（及び14日）。
- 14日 春日公園清掃奉仕。
- 18日 第3回市民民謡祭りに、民謡クラブ員7名出演する。
- 20日 理髪奉仕を10名受ける。お誕生会でバイキング料理。
- 23日 泉佐野長生会演芸会見学する。
- 5月5日 端午の節句で、かしわ餅配布する。
- 12日 春日公園清掃奉仕。長生会から感謝状を受ける。
- 14日 お誕生会。
- 15日 泉佐野市制45周年記念事業として市から感謝状を受ける。
- 17日 理髪奉仕を10名受ける。
- 19日 食堂大掃除。
- 20日 法話。
- 21日 開館記念のプレゼントを配布する。
- 24日 各階廊下・階段の大掃除を行う。
- 29日 開館満20周年記念の祝賀式典が開催される。理事会・評議員会も併せて行う。
- 6月5日 皇太子殿下ご成婚に伴い40本を記念植樹。
- 8日 近老協大会に職員・池浦出席し、表彰される。
- 9日 お誕生会。



皇太子ご成婚記念植樹



老人福祉大会で民謡クラブ員熱唱

- 6月11日 老人福祉大会が南御堂で開催され、民謡クラブ員が熱演。
- 16日 春日公園清掃奉仕。
- 25日 食堂テーブル席替え。
- 7月1日 夏の一泊旅行へ。長島温泉で泊まり、伊勢神宮参拝する。
- 7日 七夕祭り。
- 12日 理髪奉仕を10名受ける。
- 14日 春日公園清掃奉仕。
- 23日 春日神社夏祭り。子ども神輿にかき氷接待。
- 8月2日 北海道南西沖地震の義援金に対し、お礼状が届く。
- 5日 小林製薬からタオルが寄贈される。
- 9日 理髪奉仕を12名受ける。
- 10日 お誕生会。
- 12日 お盆法要。
- 15日 終戦記念日。正午黙祷を捧げる。
- 25日 地震想定の防災訓練を行う。
- 9月8日 食堂大掃除。泉佐野市福祉大会で市民会館に17名参加。
- 9日 北條ツルエさんが長寿のお祝いに知事から記念品を受ける。
- 11日 春日公園清掃奉仕。
- 13日 理髪奉仕を12名受ける。
- 15日 敬老の日、家族会を開く。春日町長生会から敬老の日のお祝いに商品券を受ける。
- 23日 秋分の日。おはぎを配布する。



夏の一泊旅行。長島温泉「花水木」



長寿のお祝いの品を受け取る 北條ツルエさん

- 9月28日 清水敦子さんが卒寿祝いで市長の表敬訪問を受ける。
- 30日 大阪府庁の監査。中秋の名月。萩・ススキに月見団子を配布。
- 10月5日 お誕生会。
- 12日 理髪奉仕を12名受ける。
- 13日 春日公園清掃奉仕。
- 19日 秋の歩こう会で「海遊館」へ行く。17名参加する。
- 21日 在宅老人給食サービスの利用者が、給食センターで会食。
- 28日 法話。32名が聴講する。
- 29日 食堂テーブル席替え。
- 11月2日 秋の食事会を犬鳴山の「紀泉閣」で行う。
- 3日 らいゆう温泉（薬湯）開始。
- 10日 秋の集団健診を梶野医師が行う。春日公園清掃奉仕。
- 15日 理髪奉仕を12名受ける。
- 17日 園芸クラブによる焼きいも大会を行う。
- 12月4日 消防用器具の点検。
- 8日 味噌仕込み。春日公園清掃奉仕。
- 9日 忘年会で紅白歌合戦も行う。
- 13日 理髪奉仕を15名受ける。
- 14日 防災避難訓練。
- 16日 在宅老人給食の利用者が給食センターの忘年会に参加する。
- 19日 春日町子ども会の餅つきがあり、お餅を受け取る。
- 22日 冬至。ゆず風呂。



秋の歩こう会で「海遊館」へ



秋の食事会で犬鳴山「紀泉閣」へ

- 12月27日 餅つき大会。
31日 大晦日。年越しそば。

平成6年

- 1月1日 新年祝賀会。お年玉の配布。
7日 七草粥。
11日 鏡開き。ぜんざいを振舞う。
12日 春日公園清掃奉仕。
13日 在宅老人給食再会。
14日 新年会。輪投げ大会。
18日 理髪奉仕を13名受ける。
2月3日 節分。豆まき。
4日 17日まで庭木剪定を行う。
8日 屋上改修工事開始。
9日 第三小学校の2年生児童による学芸劇の慰問。
16日 お誕生会。
18日 春日公園清掃奉仕。
25日 食堂テーブル席替え。
3月3日 ひな祭り。さくら餅配布。観梅。
7日 市民交通障害保険加入。
9日 春日公園清掃奉仕。
11日 泉佐野市から苗木の支給あり、ケヤキ他30本を植樹。
14日 法話。32名聴講。



輪投げ大会に参加する北條ツルエさん



第三小学校学芸慰問

- 3月15日 理髪奉仕を16名受ける。
 16日 春の食事会を「峯楽」で行う。
 4月4日 定期健康診断を保健所で行う。(及び13日)
 7日 在宅老人給食の利用者が給食センターで会食する。
 8日 お花見を大阪城公園で行う。
 13日 春日公園清掃奉仕。
 18日 理髪奉仕を12名受ける。
 20日 お誕生会。
 26日 テーブル毎に昼食会を行う。
 27日 つる亀の集いに6名参加する。
 5月5日 端午の節句。かしわ餅配布。
 9日 理髪奉仕を12名受ける。
 10日 外食会を行う(最終組)。
 11日 春日公園清掃奉仕。
 19日 食堂ほか大掃除。
 21日 4階サンルームのガラス張り替え工事を行う。
 25日 開館記念日のプレゼントを配布する。
 28日 第22回開館記念祝賀会を開催、評議員会・理事会を行う。
 6月8日 春日公園清掃奉仕。
 13日 理髪奉仕を11名受ける。
 14日 老人福祉大会を南御堂で開催、踊りクラブが出演。
 15日 お誕生会。



春の食事会を「峯楽」で



大阪城公園でお花見

- 6月18日 東流齋三鬼師による講談慰問を受ける。
- 24日 食堂テーブル席替え。
- 7月7日 七夕祭り。在宅老人給食の利用者が給食センターで会食を行う。
- 11日 理髪奉仕を15名受ける。
- 13日 お誕生会。春日公園清掃奉仕。
- 23日 春日神社夏祭り。子ども神輿にかき氷接待（及び24日）。
- 26日 居室ほか大掃除開始する（8月2日まで）。
- 8月9日 理髪奉仕を10名受ける。
- 10日 厨房大掃除。春日公園清掃奉仕。
- 15日 お盆法要。終戦記念日。正午黙祷。
- 19日 お誕生会。
- 23日 泉佐野市福祉審議会より施設見学に10名来館。
- 29日 防災訓練で避難、消火、救出訓練を行う。
- 9月1日 泉佐野市敬老大会を市民会館で行い、10名参加する。
- 3日 泉佐野市クリーン作戦。春日公園及び周辺道路清掃参加。
- 5日 北條ツルエさんが、大阪府知事より長寿のお祝いを受ける。
- 7日 理髪奉仕を10名受ける。
- 13日 敬老の日のプレゼントを配布する。
- 15日 敬老の日家族会。春日町長生会から敬老のお祝いが届く。
- 20日 中秋の名月。4階でお月見。月見団子をプレゼントする。
- 23日 お彼岸。おはぎ配布。
- 10月11日 春日公園清掃奉仕。



一泊旅行「紀泉閣」で熱唱



観心寺で紅葉を楽しむ

- 10月12日 秋の食事会を犬鳴温泉「紀泉閣」で行い、一泊する。
- 18日 理髪奉仕を11名受ける。
- 27日 在宅老人給食500回記念パーティに利用者を招待。
- 28日 食堂テーブル席替え。
- 11月2日 らいゆう温泉開始。
- 5日 入居喫煙者懇談会を行う。
- 7日 定期集団健診を梶野医師のもと行う。
- 9日 春日公園清掃奉仕。
- 15日 理髪奉仕を12名受ける。
- 16日 お誕生会。
- 22日 秋の歩こう会で河内長野市の府立花の文化園を散策、観心寺も参詣する。
- 26日 焼きいも大会を園芸クラブが行う。
- 29日 法話。25名聴講。
- 12月8日 味噌仕込み。
- 12日 理髪奉仕を15名受ける。
- 13日 忘年会、及び紅白歌合戦、ビンゴゲームなどを行う。
- 14日 春日公園清掃奉仕。
- 15日 在宅給食利用者の忘年会を給食センターで行う。
- 16日 お正月のプレゼントを配布する。
- 18日 子ども会からお餅・ぜんざいのプレゼントあり。
- 19日 防災。避難・通報訓練を行う。



第1回チャリティ焼きいも大会の
売上金は共同募金へ

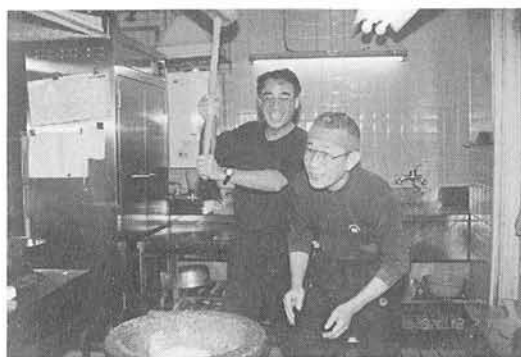


忘年会

- 12月21日 年末大掃除。
- 22日 冬至。ゆず風呂。
- 27日 餅つき大会。
- 31日 大晦日。年越しそば。

平成7年

- 1月1日 新年祝賀会。
- 7日 七草粥。
- 10日 理髪奉仕を12名受ける。
- 11日 鏡開き。ぜんざい。
- 12日 春日公園清掃奉仕。
- 13日 新年会。輪投げ大会。
- 23日 入居者懇談会（及び24日）。
- 28日 上島潤也氏による演芸慰問あり。
- 2月3日 お誕生会。すしバイキング。節分豆まき。
- 8日 春日公園清掃奉仕。
- 13日 泉佐野市立第三小学校の児童による劇の慰問。
- 16日 理髪奉仕を9名受ける。
- 22日 食堂テーブル席替え。
- 3月3日 ひな祭り。さくら餅配布。
- 6日 市民交通傷害保険加入。
- 8日 春の食事を「峯楽」で行う。春日公園清掃奉仕。
- 12日 理髪奉仕を11名受ける。



施設長と吉田職員でぺったんこ



阪神大震災（1/17）直後の神戸市

- 3月15日 泉佐野市からケヤキ・キンモクセイ苗木の寄贈あり植樹。
 28日 交通安全教室で大阪府警から人形劇ほか披露。
- 4月3日 入居者の定期健診を泉佐野保健所で行う（及び10・17日）。
 11日 お花見で蜻蛉池公園へ、松尾寺参詣。理髪奉仕を10名受ける。
 17日 つる亀の集いを池田市民会館で開催、6名参加する。
 19日 お誕生会。
 21日 春日公園清掃奉仕。
- 5月5日 端午の節句。かしわ餅配布。
 8日 入居者懇談会（及び9日）。
 10日 厨房改装工事を行い、省力化機器を導入する（12日まで）。
 15日 理髪奉仕を12名受ける。
 24日 開館記念プレゼント配布。
 27日 第23回開館記念祝賀式典。評議員会・理事会も併せて行う。
- 6月14日 敬老福祉大会を南御堂で行い、踊りクラブ出演する。
 14日 大阪府共同募金会よりNHK歳末たすけあい義援金配分として軽四輪乗用車を受け取る。春日公園清掃奉仕。
 21日 お誕生会。
 22日 理髪奉仕を10名受ける。
 30日 食堂テーブル席替え。
- 7月5日 大阪府庁の監査あり、七夕飾りつけ。
 10日 春日公園清掃奉仕。
 11日 一泊食事会を犬鳴温泉「紀泉閣」で行う。



潤ちゃんショー



蜻蛉池公園でお花見

- 7月17日 理髪奉仕を15名受ける。
- 23日 春日神社夏祭り。子ども神輿にかき氷接待（及び24日）。
- 25日 居室大掃除開始。
- 8月1日 入居者懇談会（及び2日）。
- 7日 理髪奉仕を11名受ける。
- 9日 厨房大掃除。地下受水槽清掃。春日公園清掃奉仕。
- 10日 屋上貯水タンク清掃。
- 15日 お盆法要。終戦記念日。黙祷。
- 17日 お誕生会。
- 18日 地震想定で防災訓練を行う。
- 29日 館内ガス工事（31日まで）。
- 9月2日 泉佐野クリーン作戦に伴い、清掃奉仕行う。
- 5日 北條ツルエさんの一回忌法要を営む。
- 6日 泉佐野市主催の福祉大会に参加する。
- 12日 理髪奉仕を14名受ける。
- 15日 敬老の日。家族会。
- 19日 法話。34名聴講。
- 20日 泉佐野市からの敬老祝い金支給。
- 23日 秋分の日。おはぎ配布する。
- 10月1日 国勢調査。
- 2日 入居者懇談会（及び3日）。
- 11日 春日公園清掃奉仕。



一泊食事会でごちそうを前にニコニコ顔



「どじょうすくい」全国1位の芸を観る

- 10月17日 お誕生会。理髪奉仕を14名受ける。
- 20日 食堂テーブル席替え。
- 24日 チャリティーカラオケ大会。
- 30日 秋の歩こう会で、和歌山マリーナシティの吉宗館・ポルトヨーロッパ・黒潮市場へ行く。
- 11月1日 らいゆう温泉開始。
- 8日 春日公園清掃奉仕。
- 10日 チャリティー焼いも大会を園芸クラブ主催で行い、売上金は共同募金へ。
- 14日 理髪奉仕13名受ける。秋の定期健診を梶野医師により行う。
- 17日 秋の食事会、及び買い物ツアー。
- 12月5日 自衛消防火災避難訓練。
- 8日 味噌仕込み。
- 11日 入居者懇談会（及び12日）。
- 12日 理髪奉仕を13名受ける。
- 13日 春日公園清掃奉仕。
- 15日 忘年会に在宅給食利用者を招く。正月用プレゼント配布。
- 21日 館内大掃除。
- 22日 冬至。ゆず風呂。
- 25日 消防用器具検査。
- 28日 餅つき大会。
- 31日 おせち料理準備。年越しそば。



ヨーロッパの雰囲気によいしれて



輪投げ大会

平成8年

- 1月1日 新年祝賀会。
6日 七草粥。
11日 鏡開き。ぜんざい。
12日 新年会。春日公園清掃奉仕。
16日 理髪奉仕を14名受ける。
18日 交通安全講習会で「高齢者事故防止」ビデオ他受講する。
29日 泉佐野市立第三小学校の児童による劇の慰問を受ける。
2月3日 節分。巻き寿司を提供、豆まきを行う。
12日 上島潤也氏による演芸慰問。
13日 お誕生会。
14日 春日公園清掃奉仕。
20日 新歌舞伎座招待受け7名参加する。理髪奉仕10名受ける。
23日 食堂テーブル席替え。
3月5日 春の食事会を「峯楽」で行う。
13日 春日公園清掃奉仕。
19日 理髪奉仕を13名受ける。
20日 評議員会・理事会。
4月8日 お花見。和歌山城ほか散策する。
10日 春日公園清掃奉仕。庭のお花見兼ね野外ホーム喫茶開く。
13日 交通安全講習会。
16日 理髪奉仕を12名受ける。お誕生会。



第三小学校生の演芸披露



料亭「峯楽」で春の食事会

- 4月18日 つる亀の集いに10名参加する。
- 22日 春の定期健診を泉佐野保健所で行う（及び5月13・20日）。
- 5月5日 端午の節句。かしわ餅配布。
- 8日 春日公園清掃奉仕。
- 16日 法話。38名聴講。
- 20日 理髪奉仕を12名受ける。
- 23日 開館記念のプレゼントを配布する。
- 26日 第24回開館記念式典祝賀会。理事会・評議員会も開催。
- 6月11日 理髪奉仕を12名受ける。
- 12日 一泊食事を犬鳴温泉・紀泉閣で行う。春日公園清掃奉仕。
- 28日 食堂テーブル席替え。
- 7月6日 七夕飾りつけ。
- 9日 理髪奉仕を12名受ける。
- 10日 春日公園清掃奉仕。
- 12日 誕生会をバイキング形式で行う。
- 16日 避難訓練を夜間想定で行う。
- 17日 入居者懇談会（及び18日）。
- 19日 厨房工事。
- 23日 春日神社夏祭り。子ども神輿にジュース接待（及び24日）。
- 25日 居室大掃除開始。
- 8月2日 地下受水槽清掃。水道水残留塩素濃度検査を実施する。
- 9日 厨房大掃除。



理事会・評議員会



花壇横で野外ホーム喫茶

- 8月13日 理髪奉仕を13名受ける。
- 14日 春日公園清掃奉仕。
- 15日 お盆法要。終戦記念日。黙祷。
- 20日 お誕生会。
- 22日 泉佐野市総合防災訓練共催で地震想定の防災訓練を行う。
- 9月6日 敬老大会を泉佐野市主催で開催、9名参加する。
- 10日 食堂大掃除。理髪奉仕を12名受ける。
- 11日 春日公園清掃奉仕。
- 15日 敬老家族会。
- 21日 厨房天井張り替え工事を行う。
- 23日 秋分の日。おはぎ配布。交通事故追放中央大会4名参加。
- 10月1日 赤い羽根共同募金開始。
- 9日 春日公園清掃奉仕。
- 11日 食堂テーブル席替え。
- 15日 理髪奉仕を13名受ける。お誕生会。
- 22日 ホーム喫茶を行い、売上金は共同募金へ。
- 24日 在宅給食利用者による会食会を開く。
- 29日 秋の観劇、食事会で和歌山「湯トピア」へ行く。
- 11月1日 らいゆう温泉開始。
- 4日 入居者懇談会（8日まで）。
- 7日 秋の定期健診を梶野医師により行う。
- 12日 歩こう会で、りんくうタウン・りんくう公園散策。



子ども会 布団太鼓 休憩中



敬老家族会

- 11月13日 春日公園清掃奉仕。
- 14日 お誕生会。
- 19日 理髪奉仕を13名受ける。
- 20日 園芸クラブによる焼きいも大会。
- 12月3日 忘年会。紅白歌合戦。
- 11日 春日公園清掃奉仕。味噌仕込み。
- 12日 在宅老人給食利用者を給食センターに招待して忘年会。
- 13日 共同募金協賛のホーム喫茶を行う。
- 20日 館内大掃除。
- 21日 冬至。ゆず風呂。
- 24日 正月用プレゼント配布。
- 28日 餅つき大会。
- 31日 大晦日。年越しそば。迎春準備。

平成9年

- 1月1日 新年祝賀会。
- 7日 消防用器具点検。
- 8日 春日公園清掃奉仕。
- 11日 鏡開き。ぜんざい。
- 13日 理髪奉仕を11名受ける。
- 15日 新年会。上島潤也氏による演芸慰問。
- 16日 空き缶圧縮処理機設置。
- 23日 在宅老人給食700回達成記念パーティ。



和歌山「湯トピア」



干し柿作り

- 1月23日 入居者懇談会（25日まで）。
 30日 泉佐野市立第三小学校の2年生児童による劇の慰問。
 31日 火災想定避難訓練。
- 2月3日 節分。豆まき。
 11日 お誕生会。中華バイキング。
 12日 春日公園清掃奉仕。
 18日 理髪奉仕を14名受ける。
 28日 食堂テーブル席替え。
- 3月4日 春の食事会を「峯楽」で行う。
 12日 法話。春日公園清掃奉仕。
 18日 理髪奉仕を11名受ける。
 20日 理事会・評議員会。
- 4月1日 お花見で蜻蛉池公園へ行き、水間寺参詣も併せて行う。
 7日 泉佐野保健所で春の定期健診を受ける（及び14・21日）。
 9日 春日公園清掃奉仕。
 12日 高齢者の交通安全講習会を泉佐野警察交通課より受ける。
 15日 理髪奉仕を11名受ける。
 17日 つる亀の集いへ10名参加。
 22日 お誕生会。
 23日 入居者懇談会（25日まで）。
- 5月5日 端午の節句。かしわ餅配布。菖蒲湯。
 15日 春日公園清掃奉仕。



潤ちゃんに拍手喝采



外で食べると一段とおいしい

- 5月20日 理髪奉仕を14名受ける。
- 22日 食堂・各階廊下の大掃除。
- 23日 開館記念プレゼント配布。
- 25日 第25回開館記念祝賀会。評議員会・理事会も併せて行う。
- 6月10日 お誕生会。
- 11日 春日公園清掃奉仕。
- 16日 理髪奉仕を10名受ける。
- 17日 厨房ガス配管取替え工事（及び18日）。
- 27日 食堂テーブル席替え。
- 7月7日 七夕祭り。在宅給食利用者も参加。
- 9日 春日公園清掃奉仕。
- 10日 一泊旅行食事会。犬鳴温泉「紀泉閣」、河内長野「南天苑」。
- 18日 屋上高架水槽掃除。
- 22日 居室大掃除開始（8月2日まで）。
- 22日 理髪奉仕を13名受ける。
- 23日 春日神社夏祭り。子ども神輿を接待する。
- 29日 入居者懇談会（及び31日）。
- 8月5日 地下受水槽清掃。
- 6日 厨房ガス器具取替え工事。
- 13日 春日公園清掃奉仕。
- 15日 お盆法要。終戦記念日。黙祷。
- 19日 理髪奉仕を11名受ける。お誕生会。



どうか、願いがかないますように！



異次元？いえいえここは特急ラピート

- 8月26日 防災訓練を地震想定のもで行う。
- 9月2日 大阪府庁より監査。
- 4日 泉佐野市主催の敬老大会が泉の森ホールで開催、9名参加。
- 9日 理髪奉仕を11名受ける。厨房・廊下大掃除。
- 10日 春日公園清掃奉仕。
- 13日 敬老の日プレゼント配布。
- 14日 なにわ演芸社のボランティアによる演芸慰問。
- 15日 敬老の日。家族会。
- 22日 泉佐野市より敬老祝い金を受け取る。
- 23日 秋分の日。おはぎ配布。
- 29日 坪井猛さんの卒寿祝いに市長来館。長寿座布団を受ける。
- 10月8日 春日公園清掃奉仕。
- 13日 入居者懇談会（17日まで）。
- 14日 お誕生会。
- 15日 チャリティー焼きいも大会を園芸クラブが行う。
- 20日 理髪奉仕を11名受ける。
- 29日 食堂テーブル席替え。
- 30日 在宅老人給食利用者の会食を給食センターで行う。
- 11月1日 らいゆう温泉開始。
- 4日 秋の食事会をサンヒル阪南で行う。
- 7日 入居者健診を梶野医師により行う。
- 12日 春日公園清掃奉仕。



坪井猛さん 卒寿祝い



「サンヒル阪南」で秋の食事会

- 11月17日 理髪奉仕を12名受ける。
- 21日 共同募金協賛によるホーム喫茶。
- 12月2日 味噌仕込み。
- 4日 在宅老人給食利用者の忘年会。
- 9日 法話。25名聴講。
- 10日 春日公園清掃奉仕。
- 15日 理髪奉仕を16名受ける。火災報知機器取替え工事。
- 16日 忘年会。ビンゴゲームほか。
- 22日 冬至。ゆず風呂。
- 24日 お正月用プレゼント配布。
- 28日 餅つき大会。
- 31日 年越しそば。おせち料理準備。

平成10年

- 1月1日 新年祝賀会。
- 7日 七草粥。
- 10日 在宅老人給食サービス再開。
- 12日 鏡開き。ぜんざい。
- 14日 春日公園清掃奉仕。
- 15日 新年会。上島潤也氏による潤ちゃんワンマンショー。
- 19日 理髪奉仕を11名受ける。
- 20日 入居者懇談会（24日まで）。
- 31日 エレベータ設置に関する臨時理事会。



サンタ役は西座施設長

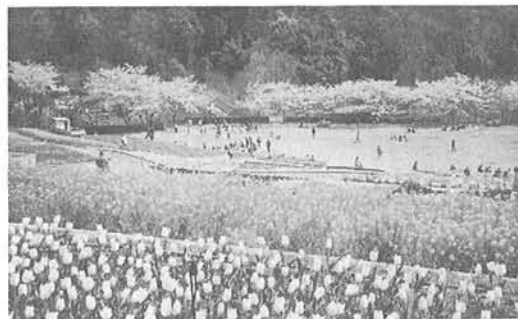


南天・松・葉ボタンを生けて新春を迎える

- 2月6日 泉佐野市立第三小学校の2年生28名による劇慰問。
- 11日 春日公園清掃奉仕。
- 17日 お誕生会。
- 23日 理髪奉仕を11名受ける。
- 26日 食堂テーブル席替え。
- 3月3日 ひな祭り。うぐいす餅配布。
- 5日 在宅老人給食利用者の会食を給食センターで行う。
- 9日 共催交通傷害保険加入。
- 10日 春の食事会を犬鳴温泉「紀泉閣」で行う。
- 11日 春日公園清掃奉仕。
- 14日 なにわ銀行佐野支店がボランティア活動のため来館。
- 21日 理事会・評議員会。
- 31日 自衛消防訓練を夜間火災想定で避難訓練を行う。
- 4月3日 お花見。根来寺参詣、植物園散策。
- 7日 入居者定期健診を梶野医院で行う（及び21日）。
- 8日 春日公園清掃奉仕。
- 14日 お誕生会。
- 18日 泉佐野市制50周年記念祝賀式で、感謝状の授与。
- 24日 つる亀の集いで池田市民文化会館へ9名参加。
- 5月5日 端午の節句。菖蒲湯。かしわ餅配布。
- 11日 理髪奉仕を12名受ける。
- 15日 春日公園清掃奉仕。



楽しかった食事会の帰り路 皆😊😊(ニコニコ)



カラーでないのが残念
桜、菜の花、チューリップが満開!

- 5月21日 開館記念プレゼント配布。
- 23日 第26回開館記念祝賀会。理事会・評議員会も併せて行う。
- 26日 交通安全講習会を泉佐野警察交通課より受ける。
- 6月9日 お誕生会。バイキング形式。
- 11日 春日公園清掃奉仕。
- 12日 庭の梅収穫し、梅干し漬け込み。
- 15日 理髪奉仕を11名受ける。
- 25日 食堂テーブル席替え。
- 7月4日 七夕飾り。玄関に笹設置。
- 6日 理髪奉仕を11名受ける。
- 7日 七夕祭り。
- 8日 春日公園清掃奉仕。理事会。
- 19日 春日神社夏祭り。子ども神輿に接待をする（及び20日）。
- 21日 お誕生会。
- 8月11日 お誕生会。
- 12日 春日公園清掃奉仕。
- 15日 終戦記念日。黙祷。物故者法要。
- 21日 泉佐野市総合防災訓練共催で、地震想定 of 防災訓練を行う。
- 9月1日 泉佐野市共催、敬老大会。
- 9日 春日公園清掃奉仕。
- 11日 敬老の日のプレゼント配布。
- 14日 理髪奉仕を10名受ける。



職員の演奏で「青い山脈」をコーラス



大きな笹に大きな飾り。見栄えがします

- 9月15日 敬老の日「家族会」。
- 23日 秋分の日。おはぎ配布。
- 26日 軽音楽演奏ボランティアを新川邸で開催。
- 28日 泉佐野市より敬老祝い金を受け取る。
- 10月1日 上村スガさんの卒寿祝いに市長来館。共同募金開始。
- 5日 中秋の名月。観月会。
- 7日 消防器具点検。
- 12日 理髪奉仕を13名受ける。
- 14日 春日公園清掃奉仕。
- 20日 秋の一泊食事会を和歌山の休暇村「加太」で行う。
- 29日 食堂テーブル席替え。
- 11月2日 らいゆう温泉（薬湯）開始。
- 9日 理髪奉仕を13名受ける。
- 11日 春日公園清掃奉仕。
- 17日 お誕生会。
- 30日 エレベーター設置の館内工事開始。インフルエンザ予防接種。
- 12月7日 理髪奉仕を15名受ける。
- 8日 事始め。味噌仕込み。
- 9日 春日公園清掃奉仕。
- 10日 在宅老人給食利用者による忘年会。
- 15日 忘年会。ビンゴゲームほか。
- 21日 ゆず風呂（22日の冬至に合わせて）。



上村スガさん 卒寿祝い



お食事前に「はいチーズ」

- 12月22日 冬至。インフルエンザ予防接種。
- 23日 食堂、各階廊下大掃除。
- 24日 クリスマス。ケーキ・プレゼント配布。
- 28日 餅つき大会。
- 31日 おせち料理準備。年越しそば。

平成11年

- 1月1日 新年祝賀会。
- 7日 七草粥。
- 11日 鏡開き。
- 12日 法話。32名聴講。
- 13日 春日公園清掃奉仕。
- 15日 新年会。上島潤也氏来演。
- 19日 理髪奉仕を10名受ける。
- 2月9日 市立第三小学校児童による「学習発表会」慰問。
- 16日 春日公園清掃奉仕。お誕生会。
- 16日 理髪奉仕を11名受ける。
- 18日 在宅老人給食利用者の会食会。
- 25日 食堂テーブル席替え。
- 3月9日 理髪奉仕を11名受ける。
- 10日 平成11年度市共済交通傷害保険加入。春日公園清掃奉仕。
- 16日 春の食事会を犬鳴温泉「み奈美亭」で行う。
- 27日 理事・評議員会。



桃の節句に飾られた年代物のおひな様

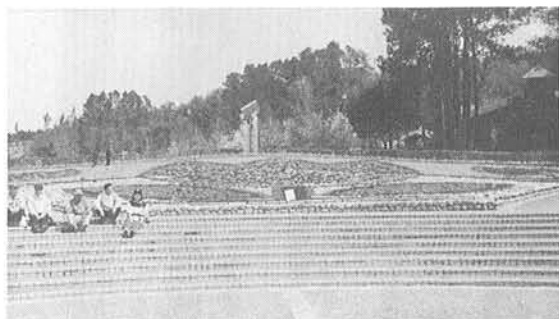


「み奈美亭」のごちそう

- 3月30日 エレベータ完成検査。
- 4月1日 お花見。河内長野市「花の文化園」ほか散策。
- 13日 春の定期健診（及び27日）。
- 14日 春日公園清掃奉仕。
- 15日 つる亀の集いに9名参加。
- 20日 お誕生会。
- 5月5日 端午の節句。菖蒲湯。かしわ餅配布。
- 10日 理髪奉仕を12名受ける。
- 12日 春日公園清掃奉仕。
- 29日 第27回開館記念祝賀会。理事会・評議員会。
- 6月9日 春日公園清掃奉仕。
- 14日 庭の梅収穫し、梅干し用に漬け込む。
- 16日 厨房大掃除。
- 22日 理髪奉仕を13名受ける。
- 27日 害虫駆除。
- 7月7日 七夕祭り。玄関ほか笹飾りつけ。
- 12日 理髪奉仕を10名受ける。
- 13日 お誕生会。
- 14日 春日公園清掃奉仕。
- 18日 なにわ演芸ボランティア演芸会。
- 20日 春日神社夏祭り。子ども神輿を接待する。
- 27日 居室大掃除開始。



エレベーターで随分楽になりました



花でチューリップが描かれています

- 8月11日 春日公園清掃奉仕。
 15日 終戦記念日。黙祷。
 16日 物故者法要。
 17日 お誕生会。
 21日 泉佐野市総合防災訓練。地震想定防災訓練。
 9月8日 春日公園清掃奉仕。
 14日 敬老の日プレゼント配布。
 15日 敬老の日。家族会。
 23日 秋分の日。おはぎ配布。
 10月4日 加門庄太郎さん、中田淑子さんの卒寿祝いに市長来館。
 13日 春日公園清掃奉仕。
 19日 秋の一泊旅行で犬鳴温泉「紀泉閣」へ行く。
 26日 赤い羽根募金、カラオケ募金行う。
 28日 インフルエンザ・ワクチン予防接種。
 11月1日 らいゆう温泉開始。
 10日 春日公園清掃奉仕。
 16日 お誕生会。
 25日 秋の定期健診を梶尾医師により行う。
 30日 インフルエンザ・ワクチン予防接種。
 12月8日 春日公園清掃奉仕。
 9日 在宅老人給食利用者の忘年会。
 10日 味噌仕込み。消防署立ち入り検査。



なにわ演芸ボランティア



中田淑子さん、加門庄太郎さん卒寿祝い

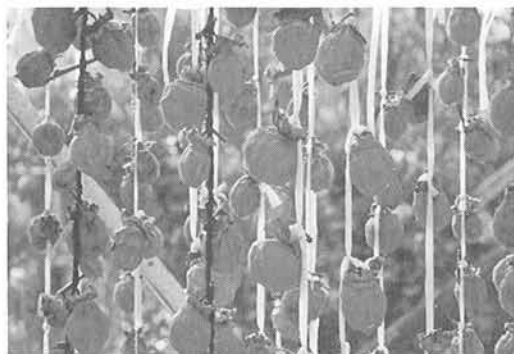
- 12月16日 忘年会。ビンゴゲーム。
 22日 冬至。ゆず風呂。
 28日 餅つき大会。
 31日 迎春準備。年越しそば。

平成12年

- 1月1日 新年祝賀会。
 7日 七草粥。
 11日 鏡開き。
 12日 春日公園清掃奉仕。
 15日 新年会。上島潤也氏来演。
 18日 理髪奉仕を11名受ける。
 2月7日 第三小学校児童による「学習発表会」慰問。
 15日 お誕生会。寿司バイキング。
 16日 大阪府庁より監査指導。
 22日 理髪奉仕を12名受ける。
 24日 食堂テーブル席替え。
 3月3日 ひな祭り。さくら餅・白酒配布。
 8日 春日公園清掃奉仕。
 14日 食事会を犬鳴温泉「不動口館」で行う。
 20日 春分の日。おはぎ配布。
 25日 理事会・評議員会。
 4月4日 お花見。和歌山方面、紀三井寺・片男波公園の散策。



セラピードッグ かわいいねえ



自家製 吊し柿

- 4月12日 春日公園清掃奉仕。
 13日 定期健診（及び18日）。
 18日 理髪奉仕を10名受ける。
 20日 法話（南御堂難波別院より）。
 24日 第41回つる亀の集いを池田市民会館で開催、10名参加。
 26日 火災通報装置定期点検。
 28日 浄化槽定期清掃。
- 5月5日 端午の節句。菖蒲湯。かしわ餅配布。
 10日 春日公園清掃奉仕。
 11日 給食事業1000回記念会食を給食センターで行う。
 16日 理髪奉仕を14名受ける。
 27日 第28回開館記念祝賀会。理事会。評議員会。
- 6月2日 らっきょう漬け込み。
 7日 春日公園清掃奉仕。
 16日 厨房大掃除。
 18日 厨房害虫駆除。
 19日 理髪奉仕を10名受ける。
 20日 お誕生会。
 22日 庭の梅収穫し、梅干し用に漬け込む。
 29日 食堂テーブル席替え。
- 7月7日 七夕祭り。屋上笹飾りつけ。
 11日 お誕生会。



近藤妙子さんより 入居者代表あいさつ



レクリエーションで旗揚げ

- 7月15日 春日公園清掃奉仕。
- 18日 理髪奉仕を12名受ける。
- 20日 春日神社夏祭り。子ども神輿を接待する。
- 23日 居室大掃除開始。
- 8月7日 理髪奉仕を14名受ける。
- 8日 お誕生会。
- 9日 春日公園清掃奉仕。
- 15日 物故者法要。終戦記念日。黙祷。
- 31日 泉佐野市総合防災訓練で、地震想定の自主防災訓練を行う。
- 9月12日 理髪奉仕を14名受ける。
- 14日 敬老の日のプレゼント配布。
- 15日 敬老の日。家族会。
- 23日 秋分の日。おはぎ配布。
- 28日 浅井文子さん、森田清枝さんの卒寿祝いに泉佐野市長来館。
- 10月1日 国勢調査。赤い羽根共同募金開始。
- 11日 春日公園清掃奉仕。
- 25日 秋の一泊食事会を、犬鳴温泉「紀泉閣」で行う。
- 27日 食堂テーブル席替え。
- 31日 インフルエンザ・ワクチン予防接種。
- 11月1日 らいゆう温泉開始。
- 2日 在宅老人給食利用者による会食。
- 7日 園芸クラブ主催によるチャリティ焼いも大会。



子ども神輿接待



太閤節を踊る踊りクラブ

- 11月 8日 春日公園清掃奉仕。
- 21日 お誕生会。
- 28日 秋の定期健診。
- 12月 7日 味噌仕込み。
- 10日 なにわ演芸、ボランティア来演。
- 13日 春日公園清掃奉仕。
- 14日 お誕生会を兼ねて忘年会。
- 19日 南御堂法話。38名聴講。
- 28日 餅つき大会。お正月プレゼント配布。
- 31日 迎春準備。年越しそば。

平成13年

- 1月 1日 新年祝賀会。
- 6日 七草粥。
- 9日 理髪奉仕。
- 10日 春日公園清掃奉仕。
- 11日 鏡開き。ぜんざい配布。
- 15日 新年会。上島潤也氏による「潤ちゃんワンマンショー」。
- 2月 9日 第三小学校児童による劇の慰問を受ける。
- 13日 庭の植木剪定終了。
- 15日 お誕生会。在宅給食利用者も招待する。
- 28日 皆でレクリエーション。在宅訪問介護利用者来館。
- 3月13日 春の食事会を犬鳴温泉「不動口館」で行う。



敬老家族会には多数の作品が展示



森田清枝さんと浅井文子さん 卒寿祝い

- 3月14日 春日公園清掃奉仕。
 19日 理髪奉仕を14名受ける。
 20日 理事会。評議員会。
 4月5日 みさき公園のお花見に8名参加。館内の花見に5名参加。
 9日 お花見で泉の森ホールまで行く。5名参加。
 11日 春日公園清掃奉仕。
 17日 お誕生会。
 19日 つる亀の集いに8名参加。
 5月1日 法話。
 5日 端午の節句。菖蒲湯。
 9日 春日公園清掃奉仕。
 15日 春の定期健診を梶野医院で行う（及び17日）。
 21日 理髪奉仕を12名受ける。
 22日 食堂大掃除。
 26日 第29回開館記念日。理事会。評議員会。
 6月8日 厨房大掃除。
 11日 梅酒仕込み。理髪奉仕を13名受ける。
 12日 らっきょう漬け。
 13日 春日公園清掃奉仕。
 16日 ホーム喫茶。
 19日 お誕生会。梅干し用に庭の梅収穫。
 22日 食堂テーブル席替え。



買い物ツアー



館内の花見もいいものヨ

- 7月10日 お誕生会。
- 11日 春日公園清掃奉仕。
- 16日 理髪奉仕を13名受ける。
- 20日 春日神社夏祭り。子ども神輿にかき氷で接待する。
- 8月2日 紅生姜漬け。甘酢生姜漬け。
- 4日 在宅給食サービス最終日。
- 8日 春日公園清掃奉仕。
- 15日 終戦記念日。物故者法要。
- 21日 お誕生会。
- 24日 ホーム喫茶。
- 30日 防災訓練。
- 9月1日 在宅給食サービス再開。
- 12日 食堂大掃除。春日公園清掃奉仕。
- 15日 敬老家族会。
- 20日 9月生まれお食事会。
- 24日 理髪奉仕を14名受ける。
- 26日 大阪府庁監査。
- 28日 ホーム喫茶。
- 10月12日 春日公園清掃奉仕。
- 15日 理髪奉仕を13名受ける。
- 19日 ホーム喫茶。
- 20日 チャリティー焼いも大会。



職員によるフラダンス



焼いもの売上は全額共同募金へ

- 10月24日 食堂テーブル席替え。
- 25日 入居者対象健康診断。
- 26日 10月生まれお食事会。
- 30日 秋の一泊旅行を犬鳴温泉「不動口館」で行う。
- 11月1日 らいゆう温泉開始。
- 8日 在宅老人給食利用者3名会食。
- 12日 理髪奉仕を13名受ける。
- 14日 春日公園清掃奉仕。
- 20日 お誕生会。
- 22日 インフルエンザ予防接種。ホーム喫茶。
- 12月1日 脱衣所・各居室入口のシート張り替え。
- 2日 厨房害虫駆除。
- 5日 食堂大掃除。
- 6日 味噌仕込み。
- 7日 避難訓練。
- 11日 理髪奉仕を14名受ける。
- 12日 春日公園清掃奉仕。
- 18日 忘年会。
- 22日 冬至・ゆず湯。
- 25日 クリスマス。プレゼント配布。
- 28日 餅つき大会。
- 31日 年越しそば・迎春準備。



宴会場での楽しいひととき



潤ちゃんショーに見入る皆さん

平成14年

- 1月1日 新年祝賀会。
7日 七草粥。
10日 在宅給食サービス再開。
11日 鏡開き。ぜんざい。
15日 新年会。潤ちゃんショー。
18日 春日公園清掃奉仕。
21日 理髪奉仕を12名受ける。
22日 法話。
23日 ホーム喫茶。
2月2日 節分豆配布。
5日 第三小学校学芸慰問。
5日 2月生まれお食事会。
12日 お誕生会。
13日 春日公園清掃奉仕。
19日 理髪奉仕を15名受ける。
21日 ホーム喫茶。
22日 食堂テーブル席替え。
3月2日 ひな祭りに合わせて、さくら餅配布。
5日 春のお食事会を犬鳴温泉「紀泉閣」で行う。
13日 春日公園清掃奉仕。
14日 ホーム喫茶。



毎回好評！バイキングのお誕生会



ハシで豆つかみ 二手に分かれて競争です

- 3月18日 彼岸入りのため、おやつにおはぎ配布。
 19日 理髪奉仕を14名受ける。
 21日 理事会・評議員会。
 4月2日 花見へ8名参加。
 3日 花見へ。末広公園まで6名参加。
 10日 春日公園清掃奉仕。
 11日 定期健康診断を梶野医院で行う。
 13日 ホーム喫茶。
 16日 理髪奉仕を13名受ける。お誕生会。
 18日 つる亀の集いに5名参加。
 25日 4月生まれお食事会。
 5月4日 端午の節句に合わせて、しょうぶ湯。おやつ柏餅。
 8日 春日公園清掃奉仕。
 13日 理髪奉仕を12名受ける。
 14日 ホーム喫茶。
 16日 泉佐野市議員不在者投票。
 21日 食堂大掃除。
 25日 第30回開館記念日。理事会・評議員会。
 28日 懇談会（30日まで）。
 6月4日 避難訓練。
 5日 厨房大掃除。
 9日 厨房害虫駆除。



岸和田包近の桃畑



職員・坂本熱唱「天城越え」

- 6月10日 らっきょう漬け込み。
 11日 6月生まれお食事会。
 12日 春日公園清掃奉仕。
 14日 梅漬け込み（梅干し用）。
 18日 理髪奉仕を14名受ける。お誕生会。
 25日 食堂席替え。ホーム喫茶。
 7月1日 麦茶サービス開始。七夕飾り作り。
 9日 お誕生会。
 10日 シソもみに入居者8名参加。
 16日 理髪奉仕を11名受ける。
 19日 ホーム喫茶。
 20日 春日神社祭。子ども神輿に接待。
 22日 7月生まれお食事会。
 23日 園芸クラブスイカパーティ。
 25日 春日公園清掃奉仕。
 8月6日 8月生まれお食事会。紅生姜漬け。
 13日 お誕生会。
 14日 春日公園清掃奉仕。
 15日 終戦記念日。物故者法要。
 16日 懇談会（及び17日）。
 26日 ホーム喫茶。
 27日 ぬりえでカレンダー作り。



避難訓練は春日公園まで避難します

- 8月29日 地震想定で防災訓練を行う。
- 9月5日 在宅給食サービス再開。
- 6日 泉佐野市敬老大会。
- 9日 理髪奉仕を13名受ける。
- 10日 食堂大掃除。
- 11日 春日公園清掃奉仕。
- 14日 敬老家族会。プレゼント配布。
- 17日 9月生まれお食事会。法話。
- 20日 ススキ採り。
- 21日 中秋の名月。月見団子を配布。
- 23日 彼岸中日。おはぎ配布。
- 10月1日 ホーム喫茶。
- 2日 松田ますゑさん卒寿祝いに泉佐野市長が表敬訪問する。
- 11日 春日公園清掃奉仕。
- 15日 10月生まれお食事会。ホーム喫茶。理髪奉仕13名。
- 22日 チャリティ焼いも大会。
第三小学校児童が「町たんけん」の社会見学で来館。
- 24日 秋の一泊旅行を犬鳴温泉「不動口館」で行う。
- 29日 食堂テーブル席替え。
- 11月4日 らいゆう温泉開始。
- 6日 みかん狩り。
- 7日 干し柿作り。秋の定期健診。



松田ますゑさん 卒寿祝い



来友館を探検中

- 11日 12日 お誕生会。春日公園清掃奉仕。
 14日 南御堂難波別院からの仏教法話。
 19日 理髪奉仕を13名受ける。
 21日 消防署立ち入り検査。
 22日 ホーム喫茶。
 26日 11月生まれお食事会。
 29日 入居者懇談会（及び30日）。
 12日 3日 食堂大掃除。
 4日 買い物ツアー。
 8日 厨房害虫駆除。
 9日 理髪奉仕を13名受ける。
 10日 忘年会。
 11日 春日公園清掃奉仕。
 13日 味噌仕込み。
 18日 カレンダー色塗り。
 19日 避難訓練。
 23日 ゆず風呂。
 25日 クリスマス・プレゼント配布。
 26日 給食サービス年内最終。
 28日 餅つき大会。
 31日 年越しそば。迎春準備。



ホーム喫茶 マスター施設長大忙し



皆で餅を作ります

平成15年

- 1月1日 新年祝賀会。
7日 七草粥。
8日 春日公園清掃奉仕。
9日 在宅給食サービス再開。
11日 鏡開き。ぜんざい配布。
13日 新年会・お誕生会。潤ちゃんショー。
20日 理髪奉仕を10名受ける。
21日 1月生まれお食事会。
22日 らいゆうレクリエーションでフラワーアレンジメント。
2月3日 節分。節分豆配布。
5日 らいゆうレクリエーションで飾り糺作りをする。
6日 第三小学校の児童による学芸慰問。
11日 ホーム喫茶。
12日 春日公園清掃奉仕。
18日 お誕生会。
27日 食堂テーブル席替え。入居者懇談会（及び28日）。
3月3日 ひな祭り。さくら餅・白酒配布。
5日 春のお食事会を犬鳴温泉「不動口館」で行う。
12日 春日公園清掃奉仕。
14日 ホーム喫茶。
18日 理髪奉仕。3月生まれお食事会。
21日 理事会・評議員会。



来てくれてありがとうね(第三小学校 学芸慰問)



館長夫妻揃って満の米寿を迎えることができました

開館満30年記念式典



あいさつする 西座正蔵理事長



和田澄子さんによる 入居者代表あいさつ



昭和時代に入館された方へ

「肩叩き」をプレゼント

左から

森田 清枝さん (昭61年入館)

松田ますゑさん (同・昭62年)

柏迫サチエさん (同・昭57年)

近藤 妙子さん (同・昭49年)

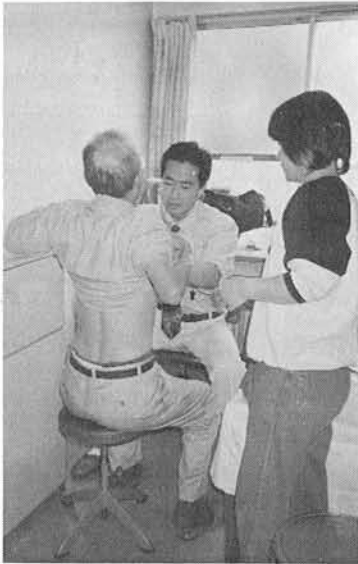
♪ 夏も近づく八十八夜
「茶摘み」の歌に合わせて



来友館ご案内



門松を立てて
正月を迎えます



梶野医院による定期健診

4階サンルームは
皆の憩いの場



入居者が庭の柿で
干し柿作り



第2水曜日は春日公園清掃奉仕



迎春準備の一つ もちつき大会

来友館の庭



白龍大明神



満開の薄紅梅 実は自家製梅干しに



灯籠に四阿 風情あふれている



花壇から来友館を見上げる



庭にはさまざまな果樹が
植えられています

来友館の概要

【設備規模】

敷地面積	1,629 m ²
建物構築	鉄筋コンクリート4階建て
延床面積	1,171.22 m ²
居室	50室 5帖押入付43室ほか
定員	50名
設備	食堂、娯楽室、サンルーム、医務室、浴室、事務室、給食センター

【ホームでの生活】

食事	朝食7時20分、昼食12時、夕食5時
入浴	午後12時45分から（週4回）
健康診断	看護師によるもの週1回 嘱託医によるもの年2回

【クラブ活動】

踊りクラブ・民謡クラブ・書道クラブ・園芸クラブ・歌を楽しむ会
カラオケクラブ・三歩クラブ

【恒例行事】

1月	新年祝賀会	8月	物故者法要
3月	春のお食事会	9月	敬老の日入居者家族会
4月	お花見会	10月	秋の一泊旅行
5月	開館記念祝賀会	12月	忘年会

お誕生会は毎月開催しています。

【費用】

利用料は本人の年金受給額によって異なりますから、お問い合わせ下さい。
入居時の一時金等は不要です。

来たれや友よ

(来友館の歌)

作詞 奈良 吉太良

作曲 中 川 国 生

1. 淡路ヶ島に 雲流れ
波路はるかに六甲の
山々望む この館
来れや友よ 来友館

2. 感謝に日々を暮しつつ
清く正しく 明るくて
一つ家族の この館
来れや友よ 来友館

3. 若きあの日を想いつつ
静かな明日を望みつつ
みんな仲良く この館
来れや友よ 来友館



【編集後記】

軽費老人ホーム「来友館」が、西座理事長の自宅敷地の一角に建設され、オープンしてから30周年を迎えました。開館10周年と20周年に記念誌を発行しましたが、この30周年にも記念誌を作成しようと、正式に決定したのが今年5月の開館記念式典の日でした。

年末の完成を目指そうということから、早急に編集委員3名を選んで記念誌の内容について検討を重ねた結果、平成5年4月から平成15年4月1日まで10年間の行事実績などについてまとめることになり、大急ぎで作成準備に取りかかりました。

しかし、老人ホームの経営も厳しくなって来ていることから、その中で経費を切り詰めて予算を捻出し、手作りによる記念誌の作成に努めたのです。

編集委員 西座新二(来友館 施設長)
田中隆英(来友会 理事)
服部敦子(来友館 職員)

開館30周年記念誌編集委員長

西座正蔵(来友会 理事長)

来友会 30年の歩み 地域社会に輪を拓げる

平成15年12月27日発行

- ◇ 編 集 開館30周年記念誌編集委員会
- ◇ 発 行 者 社会福祉法人 来 友 会
理事長 西 座 正 蔵
- ◇ 発 行 所 〒598-0058 大阪府泉佐野市春日町2-7
TEL (0724) 62-1848
FAX (0724) 64-0646
- ◇ 表紙イラスト 来友館職員 服 部 敦 子
- ◇ 印刷・製本 カケハシ印刷所

来友館



周辺地図





犬鳴山方面を臨む

来友館 屋上から見た風景



来友館屋上から望遠レンズで撮影した関西空港に着陸する外国機